

文化財活用事例集

～文化財の保存・活用のためのヒント～

第2版

令和8年(2026年)3月

熊本県教育庁教育総務局文化課

はじめに

熊本県が策定した『熊本県文化財保存活用大綱』では、文化財を「まもる」・「活かす」・「伝える」、人・組織を「育てる」という四つの要素がうまくつながり、サイクルをなすことが県内の文化財の適切な保護と次世代への継承につながるとしています。また、平成30年の文化財保護法の改正は、これまでの保存に軸足を置いた姿勢から保存と活用の好循環を生み出し地域社会全体で文化財を支える姿勢へと変わる大きな転換点となりました。

このような動きを受けて、本県では市町村での文化財を「活かす」取組を後押しするために、取組の向上やヒントになるよう令和2年度に『文化財活用事例集(以下、「事例集」)』を作成しました。事例集の作成から5年が経過し、その間文化観光の取組の活性化や新型コロナウイルス感染症を経験した社会の変化などがあり、文化財を「活かす」取組も大きく変わっていています。また、「活かす」取組への期待・要求も高まっています。そこで、熊本県では現状にあわせ事例集を改訂することとしました。

文化財を「活かす」取組はアイデア次第で無限に広がります。日常業務に手いっぱい文化財の活用まで手が回らないと思っても、実はすでに文化財を「活かす」取組を行っているかもしれません。今回改訂する事例集が、そんな気づきにつながればと思っています。文化財や観光、地域づくりといった関係部局・団体、地域などみんなで一丸となって文化財を「まもり」、「活かし」ながら次世代につないでいきましょう。

改訂のポイント

- ▶ 県内の文化財活用事例28件を収録。
- ▶ 文化財を「活かす」取組を16に分類することでやってみたい取組を検索しやすくしました。
- ▶ 実施主体や予算、財源、準備期間、手続きなど実際に取組をはじめようとするときに参考になりそうな情報を掲載しました。
- ▶ 取組に必要な資金確保に関する情報をまとめました。
- ▶ 地域による文化財保護の取組についてまとめました。

事例集の改訂に当たっては市町村をはじめ様々な機関に御協力いただきました。回答いただいたアンケート結果は巻末に一覧を掲載しています。

目次

はじめに	
改訂のポイント	
1 文化財活用事例	
A 参加型保存整備	
三角旧港（三角西港）・龍驤館葺替瓦への名入れ（宇城市）	3
B 解説・展示の工夫	
どこでもミニ移動展示用パッケージ（熊本県博物館ネットワークセンター）	4
文化財三次元データの作成・公開（熊本県文化課）	5
人吉あかりの社会実験（人吉市）	6
C 技術・技能等体験	
運動会で子どもたちによる伝統芸能を披露（五木村）	7
D 学校教育への取込	
菊池川流域日本遺産出前授業（玉名市・和水町・山鹿市・菊池市）	8
地元小学校で神楽を体験（南阿蘇村）	9
E デジタル技術の活用	
小泉八雲熊本旧居でARおばけ体験（熊本市）	10
八代城跡天守台石垣プロジェクトマッピング（八代市）	11
F 住民への開放	
藤崎家住宅（赤松館）の開放（芦北町）	12
文化財講座（あさぎり町）	13
装飾古墳一斉公開（熊本県立装飾古墳館・玉名市・和水町・山鹿市・人吉市）	14
G アートとの融合	
鞠智城スケッチ大会（歴史公園鞠智城・温故創生館）	15
H サブカルチャーとの連動	
西南戦争マンガの作成・頒布（玉東町）	16
I 施設・周辺整備	
棚底城跡 史跡整備とガイダンス施設建設（天草市）	17
スマートフォン用カメラスタンド設置（荒尾市）	18
J まち歩き	
龍ヶ岳ウォーク（キララ祭）（上天草市）	19
まち歩きマップの作成（水俣市）	20
K ガイド養成・案内	
御船LOVEクラブガイド養成講座（御船町）	21
日本遺産ガイド（中学生ボランティアガイド）（八代市）	22
L 体験プログラム	
農村舞台で薪文楽（山都町）	23
阿蘇の茅束づくり体験（教育旅行向け体験プログラム）（阿蘇市）	24
M イベント	
球磨拳世界大会（多良木町）	25
N ユニークベニュー	
楽しむ能「楽」プロジェクト！熊本城 能楽特別公演（熊本市）	26
ましき朝飯トレイル 朝来山そして飯田山を駆け抜けろ♪♪（益城町）	27
O インバウンド対応	
宇土の雨乞い大太鼓 ガイド付演奏体験とオリジナルパチづくり（宇土市）	28
多言語音声ガイドシステムの公開（荒尾市）	29
P その他	
山鹿・和水だけのオリジナルガチャ（オリジナルグッズ開発・販売）（山鹿市・和水町）	30
2 寄附による資金調達	
寄附による資金調達	33
事例①【宇城市】世界遺産「三角西港」を守り、あなたの手で未来へつなごう	34
事例②【八代市】令和2年日本伊遺産に認定された「石工の郷」のストーリーを活用し、八代の魅力を多くの人々に伝えてファンを増やしたい！	35
事例③【熊本県（阿蘇草原再生・世界遺産推進課）】阿蘇世界文化遺産登録応援プロジェクト	36
3 補助金による資金調達	
活用に係る補助金（国・県）	39
活用に係る補助金（国）	40
民間団体助成	41
4 地域住民による取組	
江藤家住宅まもろう会	45
二俣渡豪雨災害復興支援	46
参考資料（文化財の活用に関する刊行物・文化財活用事例一覧（令和7年度集計結果））	

1 文化財活用事例

三角旧港（三角西港）・龍驤館 葺替瓦への名入れ 宇城市

（世界文化遺産）
明治日本の産業革命遺産
（国登録有形文化財）
龍驤館
（国重要文化的景観）
三角浦の文化的景観



大正7年に建てられた建造物の耐震補強工事にあわせ、地元小学校の児童たちが工事で交換される瓦の裏に名入れする取組。工事期間中は、このほかにも普段は見ることのできない建物の構造を見学できる現地説明会が開催されました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

宇城市教育委員会文化スポーツ課

☎ 0964-32-1954

✉ bunkasports@city.uki.lg.jp

URL https://www.city.uki.kumamoto.jp/toppage/soshiki_list/2018751



（宇城市教育委員会提供）
葺替瓦へ名入れをする様子

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

－（名入れ体験のみ）
※耐震工事は別途費用発生

【財源】

－

【工夫した点／配慮した点】

- ・工事の初期段階から工事関係者に体験事業を実施する事を伝え工程を調整。
- ・全学年参加だったため、授業時間内に作業を終えられるよう市からも支援。

効果

- ・自身の名が残る文化財が将来にわたってふるさとに存在することで、誇りと郷土愛を醸成できた。
- ・行政主体の保存事業にとどまらず、地域の参画を得ることができた。

課題

- ・工期と学校授業時間の関係で実施時期の見極めが必要で、調整が難しかった。

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 5ヶ月、広報・周知 1ヶ月）

【実施期間】

1日（令和6年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・耐震工事関係請負業者・・・工事管理・施工
- ・小学校・・・授業調整、引率、事前学習など

【法令等に基づく手続き】

－

【参加費】

無料

【その他】

- ・龍驤館の耐震工事は文化庁の国宝重要文化財等防災施設整備事業を活用。

行って
みよう

三角西港・龍驤館

【駐車場】

普通車80台／大型バス2台

【料金】

（龍驤館入館）
大人 200円
小・中学生 100円
幼児 無料

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【所要時間】

30分～1時間30分程度



（宇城市教育委員会提供）

どこでも ミニ移動展示用パッケージ

熊本県博物館ネットワークセンター

(未指定文化財)
動植物資料
岩石・地質資料
民俗資料
歴史資料



展示スペースが限られた施設でも熊本県博物館ネットワークセンターの収蔵資料に触れられる小型の移動展示パッケージを作成し、貸出を行う取組。郷土玩具（民俗）や水辺の昆虫たち（動物）、甲斐有雄と石道標（歴史）、熊本県で見られる化石（地学）など14パッケージを準備しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県博物館ネットワークセンター

〒 869-0524 宇城市松橋町豊福1695

☎ 0964-34-3301

✉ hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）

【予算】

約350千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・様々なニーズに対応できるように、様々な分野のパッケージを作成するよう工夫。
- ・長机1台分のパッケージにすることで、省スペースで展示ができるようにコンパクトに作成。

効果

- ・どこにでも学びの場を提供できる。
- ・資料活用の幅が増える。

課題

- ・貸し出すセットに偏りがある。
- ・機材が少ないため、1度に2セットしか対応できない。



（熊本県博物館ネットワークセンター提供）
「お買い物いまむかし」どこでもミニ移動展示用パッケージ

貸出期間：1ヶ月程度
展示スペース：長机1台分

【準備期間】

約6ヶ月／1セット（企画・調整 3～4ヶ月、作成 1～2ヶ月）

（広報・周知通年、年度はじめに、県内の図書館、公民館、学校へパッケージリスト等を送付）

【実施期間】

通年（令和7年度から名称を「どこでもミニ移動展示用パッケージ」に変更し実施）

※令和6年度までは「図書館・公民館等移動展示用パッケージ」

【主な関係・連携機関】

・社会教育施設・社会福祉施設・学校・・・貸出先

【法令等に基づく手続き】

—

【借用料】

無料

【その他】

- ・貸出対象は、図書館・公民館等の社会教育施設及び高齢者や子ども、障がいのある方々に福祉サービスを提供する社会福祉施設及び学校です。
- ・利用者の方は、長机1台をご用意ください。
- ・パッケージの借用は、申請書を熊本県博物館ネットワークセンターホームページからダウンロードし郵送・メールで申し込んでください。



行って
みよう

熊本県博物館ネットワークセンター（パッケージ貸出元）

【駐車場】

普通車30台／大型バス 要相談

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

45分～1時間程度

【その他】

常設展示なし。企画展示を時期ごとに開催。開催中の企画展示情報はHPを参照。

文化財三次元データの作成・公開

熊本県文化課

(国遺跡)
陣ノ内城跡
(県重要文化財)
御大師堂・福田寺五輪塔
ほか



建造物や古墳等の三次元モデルを作成し、インターネット上のプラットフォームで公開する取組。普段は見るできない石橋の下側や石室内部を自由に閲覧できます。また、文化財三次元データの作成は災害への備えにもなっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県教育庁教育総務局文化課

☎ 096-333-2706・2707

✉ bunka@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/125/>



(熊本県提供)
中山手永における石橋群・薩摩渡

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

600千円（撮影旅費別途）

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

・無料プラットフォームを活用することでシステム更新等に係る経費を削減しました。

効果

- ・市町村における三次元データ作成に対する関心度の向上。
- ・県職員の作成技術の向上。
- ・災害への備え。

課題

- ・作成した三次元データの取扱基準の検討。
- ・県市町村によるデータ作成体制の構築と作成の推進。

～主な購入機材～

- ・デジタルカメラ
- ・タブレット
- ・ノートパソコン
- ・SDカード
- ・HDD
- ・一脚
- ・三次元データ作成・編集ソフトウェア

【準備期間】

1.5ヶ月程度（依頼・調整 1ヶ月、現地作業 1日程度、三次元モデル作成 1週間）
※現地作業・三次元モデル作成期間は文化財の内容によって異なります

【実施期間】

通年（令和2年度から公開中。随時更新）

【主な関係・連携機関】

・市町村・・・三次元モデル作成依頼、作成協力

【法令等に基づく手続き】

—

のぞいてみよう

Sketchfab

【Sketchfabとは】

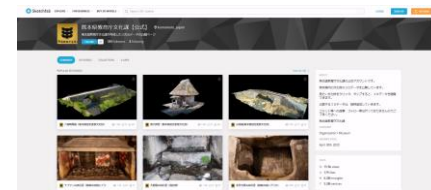
三次元モデルを公開、共有、閲覧等ができる無料のウェブサービス。



【掲載ページ】

熊本県教育庁文化課【公式】

URL ▶ <https://sketchfab.com/kumamotobunka>



Sketchfab 熊本県教育庁文化課【公式】トップ画面

【その他】

市町村において熊本県文化課による三次元計測を希望する場合は、電話又はメールで御連絡ください。

ほかにも

菊陽町 町内文化財三次元計測事業

菊陽町では、町内に所在する上津久礼眼鏡橋・井口眼鏡橋などの三次元計測を行い、指定文化財の状態管理に活用しています。今後は、作成したデータを公開し、公共に還元していくことを検討中です。

県史跡「馬場楠井手の鼻ぐり」の3Dモデルは、菊陽町文化財ツーリズムで公開中です（URL：<https://www.kikuyotsu-rizumu.jp/>）。



(菊陽町教育委員会ホームページより引用)
鼻ぐり3Dモデル

人吉あかりの社会実験

人吉市

(国宝)
青井阿蘇神社
(国史跡)
人吉城跡
(国登録)
青井阿蘇神社禊橋



将来の新たな夜景の整備に向けた「あかりの社会実験」を行う取組。令和2年7月豪雨からの復興過程でさまざまなまちのあかりづくりに取り組んできました。令和7年度は、人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプランで描いた4エリア（文化財は2エリア）で実施。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

人吉市まちづくりデザイン会議

(事務局：人吉市役所復興支援課)

☎ 0966-22-2111

✉ fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

URL lit.link/akari_hitoyoshi

【県市町村の関わり】

主催（市復興担当部局・市文化財担当部局）

協力（県振興局）

【予算】

24,682千円

【工夫した点・配慮した点】

・常設に向けた仮の空間を作る社会実験を行い、利用者の声や近隣住民への配慮等、検証により事業性や地域のコンセンサスを確認しました。

効果

・文化財をライトアップすることで、夜の観光コンテンツとしての付加価値が確認できた。

課題

・動線上にある段差などのバリアが一部暗く、観光演出だけでなく歩行者の安全確保の必要性も確認できた。



(人吉市提供)
国史跡人吉城跡ライトアップ状況

【財源】

交付金（内閣府）・補助金（国土交通省）

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 4ヶ月、広報・周知 1ヶ月）

【実施期間】

4ヶ月程度（令和7年10月1日～令和8年1月18日まで）

【主な関係・連携機関】

- ・内閣府 …… 交付金交付
- ・国土交通省 …… 河川占用許可
- ・熊本県 …… 河川占用許可
- ・人吉市 …… 公園占用許可、現状変更許可
- ・文化財所有者 …… 場の提供、機材設置許可

【法令等に基づく手続き】

- ・交付金手続き（第二世代交付金・都市構造再編集集中支援事業）
- ・河川占用許可申請（河川法）
- ・公園占用許可申請（都市公園法）
- ・現状変更許可（文化財保護法）

【見学料】

無料

【その他】

・まちづくりに関する各拠点エリアの具体的な将来像や事業化検討を行うため事業者・専門家・行政によるデザイン会議を月に1回開催。あかりの社会実験では照らし方、仕様、設置場所、地域合意等を検証するために実施。

トピック

ライトアップ実施箇所

【青井阿蘇神社：厳かさに満ちた上質なあかりの重層】
国宝青井阿蘇神社の品格と歴史的価値を感じさせる神社周辺を含む夜間景観を形成。球磨川からの参道の視覚化。

【人吉城跡：夜景を眺められる城へと進化】
「川に浮かぶ城」としての石垣のライトアップを実施。夜間に城跡内を歩くのではなく、対岸から眺めて美しく見えるようにライトアップ等を構成。



(人吉市提供)

運動会で 子どもたちによる伝統芸能を披露 五木村

(村無形民俗文化財)
高野棒踊り



地元には伝わる民俗文化財を保存会の指導のもと小学生が伝承し、毎年運動会で披露する取組。子どもたちが地域の歴史を知るきっかけになると同時に長い間大切に守られてきた伝統芸能の継承につながっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

高野棒踊り保存会

☎ 0966-37-2266

✉ kyouiku@itsuki.Kumamoto.jp

URL —

【区市町村の関わり】

その他（学校運営協働本部）

【予算】

—

【工夫した点・配慮した点】

・高野棒踊り保存会と小学校の協働活動の連携をとりました。



(提供：五木村教育委員会)
運動会で披露される棒踊り

【財源】

(ボランティア)

【準備期間】

1ヶ月（企画・調整・練習 1ヶ月）

【実施期間】

1日（平成15年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・五木村学校協働本部
- ・五木東小学校披露者

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

・運動会にむけての全体練習のなかで、指導される保存会の方とのスケジュール調整をし伝統芸能の練習を行っています。

効果

- ・地域の伝統芸能を実践することで地域の歴史を直接体感できた。
- ・地域の方との交流ができた。

課題

- ・保存会と学校との日程調整。

菊池川流域日本遺産 出前授業

玉名市・和水町・山鹿市・菊池市

(国重要文化財)
旧玉名干拓施設
(重要無形民俗文化財)
菊池の松囃子能
ほか



地域の児童生徒が日本遺産のストーリーを理解し誇りに思えるよう、学校教育と連携し日本遺産に触れる機会を提供する取組。土器や石器の実物を見て触れながら学ぶ体験型の出前授業。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

菊池川流域日本遺産協議会
文化財保存活用推進部会
令和7年度部会長 山鹿市文化課



出前授業風景 (玉名市提供)

【県市町村の関わり】

その他 (文化財担当部局・観光担当部局・農政担当部局)

【予算】

60千円

【財源】

負担金 (自治体: 玉名市・和水町・山鹿市・菊池市)
補助金 (熊本県)

【工夫した点・配慮した点】

- ・日本遺産自体だけでなく構成文化財に関係する出前授業をととして菊池川流域日本遺産を知ってもらうよう工夫。
- ・行政だけでなく民間団体とも連携して実施。

効果

・構成文化財をととして菊池川流域日本遺産を知ってもらう機会となった。

課題

・学校のカリキュラム上、新たな項目を追加しにくい、日本遺産単独では要望が少ない。

【準備期間】

3ヶ月 (企画・調整 1ヶ月、広報・周知 2ヶ月)

※玉名市の場合: 前年度2月の校長会で周知、4月以降各校から申込み受付・日程調整

【実施期間】

1コマ (平成29年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

【法令等に基づく手続き】

・補助金手続き (日本遺産負担金)

【参加費】

無料

【その他】

- ・出前授業は小・中学校、高等学校を対象に実施
- ・出前授業は市町村単位で受付

玉名市: 文化課 ☎ 0968-75-1136 /✉ bunka@city.tamana.lg.jp
和水町: 社会教育課 ☎ 0968-34-3047 /✉ syakai@town.nagomi.lg.jp
山鹿市: 文化課 ☎ 0968-43-1651 /✉ bunka@city.yamaga.kumamoto.jp
菊池市: 文化課 ☎ 0968-41-7515 /✉ bunka@city.kikuchi.lg.jp

地元小学校で神楽を体験

南阿蘇村

(県重要無形民俗文化財)
長陽村長野の岩戸神楽



長野阿蘇神社に奉納される神楽を地元小学校の授業の一環として児童が体験する取組。子どもたちが地域の歴史を知るきっかけになると同時に長い間大切に守られてきた伝統芸能の継承につながっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

実施主体：長野岩戸神楽保存会
(問合せ：南阿蘇村教育委員会)
☎ 0967-67-1602

【県市町村の関わり】

協力（文化財担当部局）

【予算】

216千円

【財源】

補助金（南阿蘇村）

【工夫した点・配慮した点】

—

効果

- ・保存会に小学生が増え、実際に令和7年の大祭で神楽を奉納している。

課題

- ・学校との調整。
- ・保存会のメンバーとの調整。



(南阿蘇西小学校提供)
体育館のステージで神楽を披露する児童たち

【準備期間】

1ヶ月（練習1ヶ月）

【実施期間】

1コマ（令和6年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・南阿蘇西小学校・・・体験者
- ・南阿蘇村・・・・・・補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（社会教育振興費補助金）

【参加費】

無料

【その他】

- ・小学生たちは学習発表会で神楽を披露。

行ってみよう

長野阿蘇神社神楽殿・長野神楽の里公園（奉納場所）

【駐車場】

普通車20台／大型バス 要相談
※南阿蘇村教育委員会（0967-67-1602）まで

【料金】

奉納の観覧料：無料
(奉納は大祭で行われているため自由に見学可)
※奉納時以外の公演と神楽殿の利用は有料

【その他】

- ・長野阿蘇神社の祭り奉納は例年夏（5月）と秋（10月）の2回。定期公演なし
- ・神楽でんは有料貸出可

【トイレ】

あり（男女別）

【所要時間】

4時間（例大祭時奉納）



神楽殿
(南阿蘇村提供)

小泉八雲熊本旧居で ARおばけ体験 熊本市

(市有形文化財)
小泉八雲熊本旧居



小泉八雲熊本旧居設置のQRコードを来訪者自身のスマートフォン等で読み込みかざすと八雲直筆の妖怪が写し出されるなどのおばけ体験ができる取組。このほか、令和7年度にはお化け屋敷や謎解きなどのイベントも開催しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本市文化市民局文化創造部文化財課

☎ 096-328-2740

✉ bunkazai@city.kumamoto.lg.jp

URL <https://www.city.kumamoto.jp/list00623.html>



AR展示イメージ (熊本市提供)

【区市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

1,500千円

【財源】

第2世代交付金 (内閣官房)

【工夫した点・配慮した点】

・妖怪のデザインは小泉八雲の世界観を壊さないよう、八雲直筆の妖怪を使用。

効果

・連続テレビ小説「ばけばけ」の放送開始に合わせて開始し、多くの来館者に楽しんでもらった。

課題

・来館者から操作方法の質問が増え、旧居に常駐している館長の業務が煩雑になった。
・次年度以降ランニングコストが掛かる。

【準備期間】

5ヶ月 (企画・調整 4ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

6ヶ月 (令和7年度新規事業)

【主な関係・連携機関】

・小泉八雲記念館 (松江市) ……資料借用

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

※ただし、別途チケット料と入館料がかかります。

行って
みよう

小泉八雲熊本旧居 (体験施設)

【駐車場】

なし

※公共交通機関をご利用ください

【料金】

大人・高校生200円

小・中学生100円

未就学児 無料

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【所要時間】

30分程度



(熊本県提供)

八代城跡天守台石垣 プロジェクトンマッピング 八代市

(国史跡)
八代城跡群 八代城跡



地元の祭りにあわせて国史跡八代城跡の天守台を活用したプロジェクトンマッピングを行う取組。総踊り会場に面した石垣に八代工業高等学校が作製した八代の観光地や特産品、八代亜紀さん、八代の祭り等の映像を投影し、祭りを盛り上げました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

八代くま川祭り振興会（八代市観光振興課）

☎ 0965-33-4132

✉ kankou@city.yatsushiro.lg.jp

URL <https://www.kumagawa-fes.com/>

【県市町村の関わり】

協力（観光担当部局ほか）

【予算】

220千円

【財源】

単費・協賛金等

【工夫した点・配慮した点】

・石垣が台形で斜面への投影だったので、高校生がその形にあわせて映像を作成。

効果

- ・地元の高校生と協力できた。
- ・祭り自体が盛り上がった。

課題

- ・石垣に投影するため、角度や形に合わせた映像作りが難しかった。
- ・準備期間が短かったため、高校生のみんなが分担して、映像を製作した。



(八代くま川祭り振興会提供)
プロジェクトンマッピング投影状況

【準備期間】

2ヶ月（企画・調整 2ヶ月、許認可 2ヶ月、設置・撤去 3日）

【実施期間】

2日間（令和7年度新規事業）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本県立八代工業高等学校・・・映像作成
- ・八代市文化振興課・・・現状変更等許可
- ・八代宮・・・所有者
- ・八代くま川祭り振興会（シアター^{ゼロ}φ）・・・投影

【法令等に基づく手続き】

- ・現状変更許可（文化財保護法）
- ・屋外広告物許可申請（熊本県屋外広告物条例）

【参加費】

無料

行って
みよう

八代城跡（プロジェクトンマッピング実施施設）

【駐車場】

普通車23台、大型バス 要相談
※大型バスの駐車はお祭りでんでん館に問合せ
ください。（0965-37-8737）

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

平均1時間程度

【その他】

・続日本100名城スタンプ・御城印はお祭りでんでん館にあります（令和7年度現在）。
※施設開館時のみ対応

藤崎家住宅（赤松館）の開放

芦北町

(国登録有形文化財)
藤崎家住宅



明治時代に建てられた大地主の邸宅を土日祝日限定で一般公開する取組。このほか、いけばな展やサイレントオペラ等のイベントも開催されています。敷地内の米蔵では町のイベントに合わせて期間限定で百年伽哩を味わうことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

赤松館保存会

☎ 0966-87-2866

【県市町村の関わり】

芦北加哩街道：協力（観光担当部局）
上記以外：その他（文化財担当部局他）

【予算】

200千円（芦北加哩街道）

【財源】

イベントにより変動

【工夫した点・配慮した点】

芦北加哩街道は芦北町出身の料理研究家江上トミ（故）の生家であり、江上氏がNHKの料理番組でカレーを家庭料理として初めて紹介したことが由来で、現在では町内外の店舗も加盟し実施しています。



(赤松館Instagramより引用)
アフタヌーンティーイベント等

効果

- ・ イベントを楽しみに毎年来る人ができた。
- ・ これまでと違った客層が来るようになった。

課題

- ・ 江上氏のレシピの再現とアレンジレシピの開発。
- ・ 文化財としての維持管理。

【準備期間】

芦北カレー街道：3ヶ月程度（企画・広報・周知 3ヶ月程度）
その他イベント：イベントにより変動

【実施期間】

一般公開：通年（土日祝日限定）（平成21年度から継続して実施）
芦北カレー街道：1ヶ月半程度（土日祝日限定）（平成22年度から継続して実施）
その他イベント：不定期

【主な関係・連携機関】

・ 文化財所有者 ・ ・ ・ 芦北加哩街道参加（芦北加哩街道実行委員会主催）
※その他のイベントはイベントにより主催や場所提供のみの場合があります。

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

入館料 ※イベントによっては別途費用が発生する場合があります。

行って
みよう

藤崎家住宅（赤松館）

【駐車場】

普通車20台、大型バス2台

【料金】

大人 500円／中学生以下 無料

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【所要時間】

1時間程度

【その他】

・ 土日祝日のみ公開



(熊本県提供)

文化財講座

あさぎり町

(国重要文化財)
木造毘沙門天立像・木造二天王立像
／肥後国球磨郡免田才園古墳出土品
ほか



町の文化財や歴史を広く周知し、町民の文化的向上を目指すために毎年度テーマを決めて3回程度の講座や講演会を行う取組。座学だけでなく、銅鏡鑄造体験等外部の専門機関と連携した体験プログラムも行っています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

あさぎり町教育委員会教育課

☎ 0966-45-7226

✉ shakai-kyouiku@town.asagiri.lg.jp

URL <https://www.town.asagiri.lg.jp/list00018.html>

【县市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

357千円

【財源】

単費

【工夫した点／配慮した点】

- ・アンケートなどを行って参加者に興味を持ってもらえるようなテーマを設定。
- ・地元郷土史家や専門家など講師として幅広い人材を活用。



(あさぎり町提供)
文化財講座（座学）の様子

【準備期間】

3ヶ月（企画・調整2ヶ月、広報・周知・募集1ヶ月）

【実施期間】

1日（講座は令和3年度から、体験講座は令和5年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本市熊本博物館・・・講座講師
- ・県内学芸員（テーマに沿って依頼）・・・講座講師

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

700円（体験講座のみ。講座は無料）

【その他】

- ・銅鏡鑄造体験は小学生3年生以下は保護者同伴が必要です。
- ・事前の申し込みが必要です（講座は当日の受付も可）。

効果

- ・これまで文化財や歴史に興味のなかった方が参加し、リピーターとなった。
- ・参加者による地域の魅力の再発見や気づきがあった。

課題

- ・参加者が固定していることから、新規の参加者を得ることが課題。

装飾古墳一斉公開

熊本県立装飾古墳館
玉名市・和水町・山鹿市・人吉市

(国史跡)
永安寺東古墳／大坊古墳
／塚坊主古墳／大村横穴群
(県史跡)
桜ノ上横穴墓群
ほか



例年、春と秋の年2回、県内に所在する装飾古墳を一斉公開する取組。専門職員等による解説を聞きながら、普段は見るできない石室の内部等を見学することができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県立装飾古墳館

☎ 0968-36-2151

✉ soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>



(熊本県立装飾古墳館提供)
装飾古墳一斉公開 (横山古墳)

【県市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

30千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・装飾古墳への影響が少ない春と秋に開催。
- ・期間内にできるだけ多くの古墳を巡れるよう公開古墳の公開日・方法を検討。

効果

- ・県内外に熊本県の装飾古墳の魅力を発信・周知。
- ・装飾古墳公開に伴う温湿度データの取得 (装飾古墳の保護のためのデータ取得)。

課題

- ・装飾古墳の保存環境の維持。
- ・土・日曜日の開催に伴う、専門職員等の配置。
- ・駐車場の確保。

【準備期間】

4ヶ月 (企画・調整 2ヶ月、広報・周知 2ヶ月)

【実施期間】

年2回 (平成21年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

・関係市町・・・主催・場の提供・当日解説

【法令等に基づく手続き】

・現状変更許可 (文化財保護法・県文化財保護条例)

【参加費】

無料

【その他】

- ・動きやすい服装で熱中症、虫よけ対策等を行い参加してください。
- ・公開日・公開方法は公開する装飾古墳によって異なります。
- ・公開装飾古墳は開催回によって変更になる場合があります。

行ってみよう

- ①永安寺東古墳、②大坊古墳、③塚坊主古墳、④大村横穴群、
⑤桜ノ上横穴墓群 ⑥横山古墳 (令和7年度秋公開装飾古墳)

【駐車場】

- ①普通車10台／大型バス 要相談
(玉名市文化課☎0968-75-1136)
- ③普通車120台／大型バス 要相談
(肥後古代の森菊水地区)
- ④普通車5台／大型バス 要相談
(人吉市文化課☎0966-22-2324)
- ⑥普通車50台／大型バス 要相談
(熊本県立装飾古墳館☎0968-36-2151)

②⑤なし

【料金】

①～⑥ 無料

【トイレ】

- ③ あり (男女別・多目的)
(肥後古代の森菊水地区)
- ④ あり (男女同)
- ⑥ あり (男女別・多目的)
- ①②⑤ なし

【所要時間】

①～⑥ 30分程度

鞠智城スケッチ大会

歴史公園鞠智城・温故創生館

(国史跡)
鞠智城跡



大人も子どもも自由な感性で鞠智城を見つめ、印象に残った風景を思い思いに描く取組。応募作品は、外部の専門家による審査・講評が行われ、優秀作品は温故創生館や県庁などで展示されます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

歴史公園鞠智城・温故創生館

☎ 0968-48-3178

✉ onkosousei@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

20千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・外部による客観性を持たせた審査と表彰式での講評の実施による参加者満足度の向上。
- ・受賞作の作品展を開催することで広く鞠智城を周知。

効果

- ・鞠智城へ訪れる機会の創出。
- ・スケッチが鞠智城跡をもっと知るきっかけとなり、文化財が身近なものと感じてもらえた。

課題

- ・天候に左右されやすいイベントのため開催期間を延長するなど工夫した
- ・急遽参加された方への用具の貸し出し準備が不十分だった。



(歴史公園鞠智城・温故創生館提供)
第10回フォトコンテスト 特別賞「家族の休日」河本泉さん

【準備期間】

2ヶ月（企画・調整 1ヶ月、広報・周知 2ヶ月）

【実施期間】

・例年ゴールデンウィーク期間中（平成14年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・県立美術館 …… 選考
- ・県立装飾古墳館 …… 作品展示
- ・関係市町村 …… 作品展示

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

- ・審査を近代絵画専門の学芸員に依頼することで高いレベルの作品を安定的に選考できるようになりました。
- ・表彰式において審査員から講評を行うことで受賞者の満足度も高く好評を得ています。
- ・鞠智城跡で家族で一日かけて、のんびり過ごされる方が多くなりました。
- ・令和5年度からはゴールデンウィーク期間中参加できなかった方々のため、締め切りを1週間延長し開催しています。

行って
みよう

歴史公園鞠智城・温故創生館（開催施設）

【駐車場】

普通車70台／大型バス5台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

熊本県庁から車で1時間程度
熊本電鉄菊池プラザ駅から徒歩40分

【その他】

- ・続日本100名城スタンプ・御城印は温故創生館にあります。※施設開館時のみ対応

西南戦争マンガの作成・頒布

玉東町

(国史跡)
西南戦争遺跡



西南戦争遺跡を周知する漫画を作成し、有料で頒布する取組。漫画の続きは、西南戦争遺跡を構成する各遺跡に設置されているQRコード読み込むと各自のデバイスで読むことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

玉東町教育委員会社会教育課

☎ 0968-85-3609

✉ syakai-k@town.gyokuto.lg.jp

URL <https://seinansensou.jp/>

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

2,471千円（本編1,402千円・続編1,069千円）

【財源】

補助金（熊本県）

【工夫した点・配慮した点】

- ・小学生高学年以上を対象になじみのうすい近代の歴史をわかりやすく伝えるよう表現等を工夫。
- ・複数所在する遺跡を回遊してもらうため現地で読むことができる続編を制作。

効果

- ・子ども・若者世代に「知る」きっかけを提供できた。
- ・「続きが読みたい」という主体的な興味を引き出すことができた。

課題

- ・史実の正確性と物語性の両立が難しかった。
- ・制作に時間と労力がかかった。



(玉東町提供)
歴史漫画西南戦争—ふたりの隼人—

【準備期間】

各10か月（マンガ制作・企画調整 10ヶ月、続編マンガ制作・企画調整 10カ月）

【実施期間】

通年（平成29年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・マンガ家 マンガ制作
- ・玉名地域振興局 . . . 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（地域づくり夢チャレンジ推進補助金交付要項）

【購入費】

100円

※町内小中学校は無料配布

【その他】

- ・マンガの続編が読めるQRコードは、正念寺、二俣瓜生田砲台跡、半高山・吉次峠古戦場に設置しています
- ・マンガの周知啓発用の特大パネルを木葉駅前施設に常設しています。イベント時にも活用しています。

ほかに 世界文化遺産認定10年・明治日本の産業革命遺産が舞台の短編ミステリー小説

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会では、令和7年の世界遺産登録10周年を記念して令和5年度から構成資産を舞台とした短編ミステリー小説12編を順次、制作・公開しています。熊本県関係では、三角西港を舞台とした『夏の三角の夢（友井 羊）』、万田坑を舞台とした『追憶の炭細工（蒼井 碧）』が公開されています。現在はミステリー小説を巡る旅も展開中です。

「明治日本の産業革命遺産」ミステリー小説

▶ <https://10anniversary-jmir.com/mysterynovels>



棚底城跡 史跡整備とガイダンス施設建設

天草市

(国史跡)
棚底城跡



史跡棚底城跡における遺構表示やサイン等の整備とガイダンス施設建設の取組。整備等を通じて中世城や天草一揆衆の歴史を分かりやすく学べる場をつくり、来訪者の増加及び市民や児童・生徒による活用、市域全域の文化財周遊を促進していきます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

天草市観光文化部文化課

☎ 0969-32-6784

✉ bunka@city.amakusa.lg.jp

URL <https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/list00038.html>



(天草市文化課提供)
棚底城跡と建設中の天草戦国ミュージアム

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

602,702千円（平成29年度～令和8年度）

【財源】

補助金（文化庁）

【工夫した点／配慮した点】

- ・史跡ではじめて樹木管理ガイドラインを策定し、支障木を定義して計画的に伐採。
- ・ガイダンス施設に市支所庁舎を併設することで、合併特例債を適用し財政負担を大幅に軽減。

効果

- ・工事関係者の家族等も来訪するようになった。
- ・Googleマップで口コミがつくようになった。
- ・住民の日常会話に棚底城跡という言葉が出るようになった。

課題

- ・史跡整備工事の前例がなかった。
- ・史跡指定地の相続人特定と用地交渉。
- ・事業の意義や整備工法の理解獲得。

【準備期間】

4年（保存管理計画策定2年、整備基本計画策定2年）

【実施期間】

10年（平成29年度～令和8年度整備事業実施）

【主な関係・連携機関】

- ・文化庁 ……補助金交付、現状変更等許可
- ・棚底地区振興会 ……史跡内の管理及び活用

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）
- ・現状変更等許可（文化財保護法）
- ・規制区域指定時における盛土工事届出（宅地造成及び特定盛土等規制法）
- ・一定の規模以上の土地の形質の変更届出（土壌汚染対策法）
- ・公共事業等景観形成指針適合協議（景観法・天草市景観条例）
- ・用地譲渡所得の特別控除（租税特別措置法）、収用証明書の交付（土地収用法）
- ・農業振興地域農用地区域除外（農業振興地域の整備に関する法律）、農地転用許可（農地法）
- ・道路・里道占用許可（道路法）

【参加費】

—

【その他】

- ・ガイダンス施設は、市倉岳支所庁舎及び倉岳図書館との複合施設。道の駅としても登録。

行って
みよう

天草戦国ミュージアム(ガイダンス施設)

【駐車場】

普通車40台/バス2台/身障者2台/バイク10台

【トイレ(24時間利用可)】

あり（男女別・多目的・親子）

【料金】

無料

【所要時間】

1時間程度

【その他】

- ・カフェスペースあり

※ガイダンス施設は令和8年11月開館予定

スマートフォン用 カメラスタンド設置 荒尾市

(世界文化遺産)
明治日本の産業革命遺産
(国史跡)
三井三池炭鉱跡 万田坑跡
ほか



史跡内のフォトスポットにスマートフォン用カメラスタンドを設置する取組。カメラスタンドを利用することで手軽に文化財を背景とした集合写真が撮影できます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

荒尾市 観光文化交流課 観光推進室

☎ 0968-63-1421

✉ kankou@city.arao.lg.jp

URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kan kou/>



(荒尾市提供)

万田坑設置のカメラスタンド

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）

【予算】

285千円（※3施設分）

【財源】

単費

【工夫した点/配慮した点】

・令和3年度に作成した観光PR動画で紹介しているスポットを設置箇所に選定し、カメラスタンドにはモデルコースを紹介するウェブサイトへアクセスできる二次元コードを掲示。

効果

・撮影ポイントのアピールとなっている。

課題

・使用状況の把握が難しいこと。

【準備期間】

1年程度（企画・調整：1年、作成・印刷：1ヶ月）

【実施期間】

通年（令和4年度に設置）

【主な関係・連携機関】

・荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室・・・現状変更等許可
・熊本県文化課・・・・・・・・・・・・・・・・・・現状変更等許可

【法令等に基づく手続き】

・現状変更等許可（文化財保護法・熊本県文化財保護条例）

【使用料】

無料

【その他】

・カメラスタンドは、万田坑のほか宮崎兄弟の生家及び四山神社に設置されています。
・参考URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kankou/7386.html>
（市HP「電子パンフレット「あらお日和」の完成に併せてカメラスタンドを設置しています」）



行ってみよう

万田坑（カメラスタンド設置施設）

【駐車場】

普通車72台/大型バス5台/中型バス3台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

※史跡内にはありません。

【料金】

大人・大学生 410円/高校生 310円

/小・中学生 210円

【所要時間】

1時間程度

【その他】

・休館日月曜日（祝日の場合翌日）
・施設に関する問合せは万田坑ステーションまで（☎0968-57-9155）

龍ヶ岳ウォーク (キララ祭) 上天草市

(国名勝)
龍ヶ岳



名勝「龍ヶ岳」に登る健康ウォークを通じ龍ヶ岳町を広くPRするウォーキングイベントを開催する取組。景色と各エイドステーションで提供される地元食材を楽しみながら山頂のゴールを目指します。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

キララ祭実行委員会・キララ祭実行委員事務局
(上天草市商工会姫戸龍ヶ岳支所内)

☎ 0969-58-2166

✉ kirara.sunrisewalk@gmail.com

URL <https://www.facebook.com/kirarasai>



(提供；キララ祭実行委員会)
龍ヶ岳山頂での様子

【県市町村の関わり】

後援（観光担当部局）

【予算】

約1,500千円

【財源】

参加費、補助金（上天草市）、協賛金ほか

【工夫した点／配慮した点】

- ・名勝龍ヶ岳の景観を生かしたコース設定。
- ・エイドステーションでの地元食材の提供・給水、チェックポイント配置による安全配慮。
- ・中学生ボランティアの協力による受付・誘導・声かけ等安心して参加できる運営。

効果

- ・文化財の魅力発信
- ・地域PR・多世代交流促進
- ・地元食材によるおもてなし
- ・中学生等ボランティア参画

課題

- ・下山手段（バス等）の確保・案内
- ・案内表示（距離・道順等）の充実
- ・休憩・トイレ環境の整備

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 5ヶ月、広報・周知・募集 2ヶ月）

【実施期間】

1日（平成2年度から継続して年1回開催）

【主な関係・連携機関】

- ・上天草市商工会・・・窓口
- ・地元中学校・・・ボランティアスタッフ（受付・誘導・声かけ等）
- ・交通安全協会・・・交通整理
- ・地元事業者・・・エイド提供等
- ・上天草市・・・補助金交付、ボランティアスタッフ

【法令等に基づく手続き】

- ・道路使用許可（道路交通法）

【参加費】

大人 2,000円／中学生以下1,000円／未就学児 無料

【その他】

- ・登山ウォーク（片道約7kmの往復コース）
※ 事前申込者優先で、下山時マイクロバスに乗車可能
- ・コスプレでの参加も可能
- ・小中学生向け抽選（龍玉）、表彰式、抽選会、お菓子投げを実施
- ・臨時駐車場：旧大道中学校グラウンド

ほかに

人生100年時代・健康づくりと文化財

歩くことは心血管疾患の発症リスクを低減するだけでなく、脂肪燃焼・肥満予防に役立ちます。歩いて地域の歴史的な建造物を巡ったり、山城を散策したりと文化財に触れながら心も体も元気になりましょう。

県内には文化財を巡るオルレやフットパス、ウォーキング大会等がたくさんあります。

まち歩きマップの作成

水俣市

(県史跡)
徳富蘇峰・蘆花生家
(市有形文化財)
源光寺薩摩部屋
ほか



明治・大正・昭和初期の雰囲気を残すまち並みで旧河道など往時の面影を探しながらまち歩きができる文化財マップを作成した取組。文化財の散策・見学を通じた周辺商店街への誘客も目指しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

水俣市教育委員会教育課

☎ 0966-61-1639

✉ syogai@city.minamata.lg.jp

URL <https://www.city.minamata.lg.jp/list00101.html>

【区市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

68千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・かつての河道位置を現地図で分かるようにしました。
- ・現在も見ることができる文化財等の写真は新しく撮影しました。

(水俣市教育委員会提供)
徳富蘇峰・蘆花生家 周辺まち歩きマップ



効果

- ・大学などの調査研究に生かされるようになった。
- ・マップに記載していない情報も得られるようになった。

課題

- ・実際に歩くためには、看板などのサインが不足しているため、今後整備予定である。

【準備期間】

6ヶ月 (企画・調査 4ヶ月、作成・印刷 1ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

通年 (令和6年度作成)

【主な関係・連携機関】

・水俣市教育課生涯学習室・・・施設所管 (徳富蘇峰・蘆花生家、水俣市立蘇峰記念館)

【法令等に基づく手続き】

—

【購入費】

無料

行って
みよう

①徳富蘇峰・蘆花生家、②水俣市立蘇峰記念館 (マップ設置施設)

【駐車場】

- ①自家用車2台/バスは要相談
 - ②水俣市役所駐車場/バスは要相談
- ※水俣市教育委員会教育課へ問合せ

【所要時間】

- ①40分程度
- ②30分程度

【料 金】

- ①②無料

【そ の 他】

・開館日・時間は市HPで確認してください

【トイレ】

- ①あり (男女別)
- ②あり (男女別)



(水俣市教育委員会提供)
徳富蘇峰・蘆花生家

御船LOVEクラブガイド養成講座

御船町

(県重要文化財)
八勢目鑑橋
(町史跡)
御船城跡
ほか



町の歴史・文化・風俗の学習と観光ガイド育成を目的としたガイド養成講座を年4回開催する取組。講座には、ガイドだけでなく、町内外問わずどなたでも参加ができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

観光ガイド 御船LOVEクラブ
(御船町観光交流センター)

☎ 096-282-4700

✉ ifunetown.tourismassociation@gmail.com

URL <https://www.mifune-kankou.jp/>



(御船町提供)
第3回講座「御船町の石橋」バスツアーの様子

【県市町村の関わり】

協力（観光担当部局）

【予算】

370千円

【財源】

年会費・補助金（御船町）

【工夫した点／配慮した点】

「甲斐宗運」や「西南の役」といった歴史的テーマから、町内の石橋巡りまで、各回で異なるテーマと現地視察を設定し、継続して参加したくなる魅力的なプログラム構成としました。

効果

- ・本年度は座学だけでなく、バスツアーや徒歩移動等現地を見て巡ること学びを深め、参加者も多かった。

課題

- ・講師陣・参加者の高齢化。

【準備期間】

5か月～9ヶ月（募集期間5か月～9か月（日程決定から各回開催まで））

【実施期間】

半日（年4回）

【主な関係・連携機関】

- ・一般社団法人 御船町観光協会 …… 講座・ガイド受付
- ・御船町商工観光課 …… 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

令和7年度実施内容

第1回：甲斐宗運と城山公園（現地）10月

第2回：西南の役と御船町（現地）11月

第3回：御船町の石橋（バスツアー）12月

第4回：東禅寺の歴史を学ぶ（現地）2月

日本遺産ガイド (中学生ボランティアガイド) 八代市

(市有形文化財)
鍛冶屋下橋
(市天然記念物)
白髪岳天然石橋
ほか



年間を通じて地元中学生が日本遺産の構成文化財を楽しく案内する取組。中学生たちは、地元の方々や行政の協力のもと総合学習の時間等を活用してめがね橋に関する学びを深め、ガイドを行っています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

東陽町住民自治協議会
(東陽まちづくり協議会)
☎ 0965-65-2210
✉ toyou-komisen@yatsushiro.jp
URL <https://www.instagram.com/toyomachikyou?igsh=aHp0OGJtN3RhcMn2>



(東陽中学校提供)
東陽中学校のボランティアガイド

【区市町村の関わり】

協力 (文化財担当部局・地域振興担当部局)

【予算】

150千円

【財源】

単費・補助金 (八代市・ユニフォーム代)

【工夫した点/配慮した点】

天草崎津の中学生ボランティアガイドとの交流を行う等、先進地の取組を参考にしています。

効果

- ・地域と中学生が主体的にボランティア活動を行うことで、自己肯定感やふるさとへの愛着、誇りを育むことができた。
- ・将来の担い手の育成ができた。

課題

- ・ガイド活動の経験の場。
- ・活動の財源確保。

【準備期間】

5ヶ月 (企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月、ガイド養成 4ヶ月) ※令和4年開始時

【実施期間】

50分・70分/回 ※6月から3月の毎月第2日曜日午前 (令和4年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

- ・八代市立東陽中学校 ガイド派遣
- ・東陽町石匠館 ガイドのための助言
- ・八代市経済文化交流部文化振興課 ガイドのための学習支援
- ・八代市総務企画部東陽支所地域振興課 広報・周知・受付
- ・八代市日本遺産活用協議会 補助金・助成金交付

【法令等に基づく手続き】

—

【ガイド料】

無料

【その他】

- ・ガイドは事前予約制で申込み切は実施日前前週の金曜日です。
- ・1.2kmコース (50分) と2.2kmコース (70分) があります。
- ・ガイド料は無料ですが、石匠館を見学される場合は入館料が必要です。

行ってみよう

東陽町石匠館 (ガイド集合場所)

【駐車場】

自家用車15台/大型バス3台

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【料金】

大人310円/高校・大学生200円
/小・中学生100円

【所要時間】

30分～1時間程度

【その他】

- ・事前に予約があれば館長による展示案内可能

農村舞台で薪文楽

山都町

(県重要無形文化財)
清和文楽人形芝居
(国登録有形文化財)
大川阿蘇神社農村舞台



「薪文楽」は、往時の農村における芝居興行の様子を体感できるイベントです。かつて清和文楽の十八番とされた「絵本太功記」、「鎌倉三代記」などの時代物と呼ばれる演目を篝火に照らされた幻想的な雰囲気の中で鑑賞することができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

一般財団法人 清和文楽の里協会
道の駅 清和文楽邑 清和文楽館
☎ 0967-82-3001
✉ daihyo@seiwabunraku.com
URL https://seiwabunraku.com/

【県市町村の関わり】

名義後援 (山都町・山都町教育委員会)

【予算】

約 1,000千円

【財源】

収入は公演鑑賞料のみ

【工夫した点/配慮した点】

- ・会場設営は、往年のマダケによる棧敷を組むほか、舞台設営等もこれまでと変わらない方法で行うため、その方法などの継承や記録も試みています。
- ・「十人重箱弁当」によるおもてなしや地元中学生による人形芝居をモチーフとした所作踊り披露など地域一体となった往時のまつりの様子を体感できる様、心掛けています。
- ・各棧敷を巡って「十人重箱弁当」の食べ方の作法など説明を行っています。



(一般財団法人清和文楽の里協会 提供)
薪文楽の公演風景 (「鎌倉三代記」)

効果

- ・往時の奉納芝居の再現することで地域との一体感の醸成する。
- ・清和文楽人形芝居の知名度の向上。
- ・登録有形文化財の有効活用。

課題

- ・会場設営等の準備に係る各種団体との調整、人員の確保。
- ・情報発信の拡大ツールの整備。
- ・旅行者等との協力体制。 など

【準備期間】

3か月 (企画・調整1ヶ月、広報・周知・チケット販売3ヶ月)

【実施期間】

毎年10月上旬の1日 (平成5年頃から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

- ・山都町・山都町教育委員会・名義後援
- ・清和中学校・所作踊り (人形芝居がモチーフ) 出演、準備協力
- ・大川阿蘇神社・会場の提供
- ・地元消防団・火災警戒
- ・清和文楽人形芝居保存会・出演

【法令等に基づく手続き】

- ・火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出 (上益城消防組合火災予防条例)

【参加費】

1名あたり 6,500円 (お弁当・お土産付き)

【その他】

- ・4月第3土曜日 (要確認) には、大川阿蘇神社の収穫祈願祭が開催され、農村舞台での人形芝居を観賞することができます。
- ・清和文楽館では、古典外題だけでなく、小泉八雲原作の「雪おんな」や尾田栄一郎の「ONE PIECE」などの新作も上演しています。

行って
みよう

大川阿蘇神社 (公演会場)

【駐車場】

道の駅清和文楽邑 駐車場を利用
自家用車110台/大型バス80台
大川阿蘇神社まで徒歩5分

【料 金】

無料

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【所要時間】

20分
(大川阿蘇神社の参拝並びに
農村舞台の見学の所要時間)

阿蘇の茅束づくり体験 (教育旅行向け体験学習プログラム) 阿蘇市

(ユネスコ無形文化遺産)
伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術(茅採取)
(国重要文化的景観)
阿蘇の文化的景観



阿蘇の伝統文化と草原保全につながる活動として、熊本県立大津高等学校の生徒が茅葺き屋根に利用するススキを刈り取り、束ねる作業を体験しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

阿蘇草原保全活動センター

☎ 0967-32-4193

✉ gakusyukan@aso.ne.jp

URL <http://aso-sougencenter.jp/>

【県市町村の関わり】

—

【予算】

20千円

【工夫した点／配慮した点】

- ・移動にスクールバスを利用できたことで経費を軽減。
- ・事前に刈払い機で刈ったススキを集めて束ねられるようにすることで作業工程を削減。

効果

(体験者感想一部抜粋)

- ・鎌を使ったり色々な道具を使った牧野作業はとてもよい経験になった。
- ・想像していた何倍もきれいな景色を見た。
- ・草原に関わるボランティアをしたい

課題

- ・朝から雪が舞っていたが、風を避けられる場所を選定して行った。



(阿蘇グリーンストック提供)
カヤ束づくり

【財源】

参加者負担

【準備期間】

3ヶ月(企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

1日(令和6年度実績)

【主な関係・連携機関】

- ・熊本県立大津高等学校参加学校 体験
- ・車帰原野管理組合 場所の提供
- ・公益財団法人阿蘇グリーンストック 指導・事務局
- ・環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 共催

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料 ※バス借用代が不要となったため

【その他】

- ・実施(協力)熊本県立大津高等学校、車帰牧野組合、阿蘇草原再生協議会草原環境学習小委員会の協力のもと実施しました。

トピック

SDGsや草原保全に関わる話と牧野(ぼくや)散策

牧野の方から草原の維持管理や野焼きの話聞き、環境省職員より草原を取り巻く状況や課題など、SDGsにも関わる話を聞き、生徒の身近な環境について考える機会となりました。

また、阿蘇五岳も有明海も臨められる牧野を散策し、雄大な景色を楽しむことができました。



(阿蘇市提供)

球磨拳世界大会

多良木町

(町無形民俗文化財)
球磨拳
(国登録有形文化財)
多良木町交流館石倉 (旧多良木町農
業会米倉庫)



球磨郡に古くから伝わるジャンケン遊びの”最強“を決める世界大会を開催する取組。大会を通じて「球磨拳」の保存と普及を一層進めると共に、地元の方も遠方の方も一緒にあった人と人の温かいつながりを感じることができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

多良木町伝統・伝承芸能保存団体連絡協議会

(事務局：多良木町企画観光課)

☎ 0966-42-1257

✉ kikaku@town.taragi.lg.jp

URL <https://www.kumaken-japan.com/>

【県市町村の関わり】

事務局 (文化財・観光担当部局)

【予算】

600千円

【工夫した点/配慮した点】

- ・情報発信の強化 (WEB、SNS)。
- ・大会の機運醸成 (アプリを活用してのグループ分け等)。
- ・初心者でも参加しやすいルールづくり (初心者部、団体部の新設)。

効果

- ・メディアからの問合せ多数。
- ・町外からの参加者多数。
- ・小学生から100歳まで幅広い年代の参加あり。

課題

- ・スタッフの確保。
(想定を上回るメディアからの問い合わせ及び大会参加があった。)
- ・資金の確保。



(多良木町提供)

初心者の部の様子
老若男女問わず、球磨拳を通じて交流し笑い声が響く。

【財源】

補助金 (県・多良木町)

【準備期間】

4ヶ月 (企画・調整1ヶ月、広報・周知2ヶ月、応募・受付 1ヶ月)

【実施期間】

1日 (平成24年度から継続して年1回開催)

【主な関係・連携機関】

- ・民間企業 地域活性化企業人として球磨拳振興に取り組む
- ・熊本県 補助金交付
- ・多良木町 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き (くまもと未来づくりスタートアップ補助金・多良木町)

【参加費】

1,000円

【その他】

- ・初心者部、個人部、団体部があります。
- ・団体部が2025年大会から新設されました。

行ってみよう

国登録有形文化財・多良木町交流館石倉 (大会会場)

【駐車場】

自家用車70台/大型バス 要相談

【トイレ】

あり (男女別)

【料 金】

午前 (8時30分~12時) 1,140円

午後 (12時~17時) 1,140円

夜間 (17時~22時) 1,140円

【その他】

- ・貸会場としての利用が可能です。
- ・多良木町企画観光課 (☎0966-42-1257) へお問合せください。



(多良木町提供)

楽しむ能「楽」プロジェクト！ 熊本城 能楽特別公演 熊本市

(国特別史跡)
熊本城跡



熊本城天守閣前広場を会場に「楽しむ能『楽』プロジェクト！熊本城 能楽特別公演」を開催する取組。ライトアップされた天守閣の前で、加藤清正とゆかりのある演目である能「猿（えびら）」のほか、能「葵上」、狂言「秋大名」を実施しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

公益社団法人 能楽協会

☎ 03-5925-3871

URL <https://www.nohgaku.or.jp/>

【県市町村の関わり】

後援（文化担当部局）

【財源】

補助金（文化庁文化芸術振興費補助金）

助成（独立行政法人日本芸術文化振興会）

【工夫した点／配慮した点】

- ・文化財の保護を前提としながら、熊本城と能楽公演の双方の魅力が高まるような内容となるよう、能楽協会と熊本市が協議を重ねながら事業実施に向けて取り組みました。



(公益社団法人能楽協会提供)
能「葵上」上演の様子

効果

- ・熊本城は能楽とのゆかりも深く、歴史的にも意義ある舞台となった。
- ・熊本城の新たな魅力を創出する機会となった。

課題

- ・屋外のため天候や気温が心配だった。
- ・設営に使える時間が限られていた。
- ・会場の天守閣前広場と受付の券売所が離れていたため連携が難しかった。

【準備期間】

7ヶ月（企画・調整3ヶ月、許認可手続き2ヶ月、広報・周知2ヶ月）

【実施期間】

2日間／各日夜間1公演（令和7年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本市 会場の提供・会場使用に関する許諾
- ・文化庁 補助金交付
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会 . . . 助成金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・現状変更等許可（文化財保護法）
- ・熊本城使用許可（熊本市都市公園条例、熊本城公園における催事開催に係る許可基準要綱）

【観覧料】

5,000円

ほかにも

熊本城で民間イベント開催

令和7年4月から天守閣前広場や天守閣内など城内5ヶ所で民間イベントを開催することができるようになりました。会場使用の可否は熊本城催事審査会議で審査され、イベントに伴う市の収益は熊本城の維持・管理等の財源に充てられます。

詳しくはこちら ▶ <https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363249/index.html>
問 合 せ ▶ 熊本城総合事務所総務管理課（☎096-352-5900）



ちょ〜いい
ましき朝飯トレイル
朝来山そして飯田山を駆け抜けろ♪
益城町

(国天然記念物)
布田川断層帯



布田川断層帯（谷川地区）をスタート・ゴールに朝来山から飯田山を駆け抜けるトレイルランニングを開催する取組。ランニングを通じて町の歴史や地域の魅力を知ってもらうことが目的です。競走ではなく共走しながら町内の文化財で地震のエネルギーを感じてもらい個々の防災につなげてもらうことを目指しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

飯田山トレイル実行委員会

☎ 090-9475-4774

✉ mashiki.idyt@gmail.com

URL <https://tanido.wixsite.com/iidasan-trail>



(飯田山トレイル実行委員会提供)
谷川展望広場を駆け抜ける参加者

【県市町村の関わり】

協力（文化財担当部局）

【予算】

町単費としての予算無

【財源】

補助金（益城町）

【工夫した点／配慮した点】

- ・地元住民、区長のみならず町長、副町長も参加
- ・益城町の震災遺構をめぐるウォーキングを同時開催（記憶の継承WG）
- ・防災冊子を作成して大会で防災講座の実施

効果

- ・情報発信や運営に係る団体ができ、文化財の活用に関わる裾野の拡大に繋がった。
- ・布田川断層帯を起点としたことで付近に所在する他の文化財を含めた活用が可能となり、文化財の面的な活用・周遊性の向上に繋がった。

課題

- ・選手、スタッフ、応援者、住民全員が楽しめる大会の開催。
- ・参加枠がすぐに埋まってしまう。
- ・後夜祭への地元の皆様の参加。
- ・海外への発信。

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月、募集・受付 2ヶ月）

【実施期間】

年1回（令和6年から継続して開催）

【主な関係・連携機関】

- ・益城町産業振興課 補助金交付
- ・益城町教育委員会 大会運営、会場および資材貸出協力
- ・益城町陸上競技協会 大会運営協力
- ・熊本国際空港株式会社 大会協賛協力
- ・御船警察署 道路使用許可
- ・熊本市消防局益城西原消防署 緊急搬送届出
- ・地域住民 エイド運営協力、当日トレイルラン参加、公民館貸出、盛大な応援

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（益城町にぎわい活性化補助金条例）
- ・傷害保険
- ・食品衛生責任者（食品衛生法）
- ・道路使用許可（道路交通法）
- ・消防署への緊急時への搬送依頼届出（熊本市消防局益城西原消防署）

【参加費】

3,000円（ましき朝飯トレイル）1,000円（ましき朝ど飯ウォーキング）
3,000円（ましき朝飯トレイル後夜祭）

【その他】

- ・対象は高校生以上でハーフマラソン完走者
- ・未成年者は保護者の承諾が必要
- ・大震災を経験した益城の自然や文化財を活用し、個人の防災意識を高める大会大会
- ・砥川の古民家（河端家住宅）をエイドに設定
- ・常楽寺（町指定史跡）をルート内に設定
- ・トレイルのほかにも自衛隊救護車両展示、後夜祭での益城秋祭り花火鑑賞も実施

宇土の雨乞い大太鼓 ガイド付演奏体験とオリジナルパチづくり 宇土市

(国重要有形民俗文化財)
宇土の雨乞い大太鼓



インバウンド客を対象に宇土の雨乞い大太鼓を素材とした観光コンテンツを開発・販売する取組。コンテンツは、ウェルカムパフォーマンスから始まり、歴史学習やオリジナルパチづくり、参加者による演奏体験が楽しめます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

宇土市・宇土市観光物産協会（コンテンツ造成）

☎ 0964-27-3329

✉ syoukou03@city.uto.lg.jp

URL <https://city-uto.com/>

【県市町村の関わり】

その他（観光担当部局）

【予算】

13,743千円（コンテンツ造成：6,000千円・コンテンツPR・販売：7,743千円）

【財源】

補助金（観光庁）

【工夫した点／配慮した点】

- ・コンテンツ造成にあたってはモニターツアーを実施し、参加者の声をもとに内容の改善を行いました。

効果

- ・特に外国人旅行客の誘客促進が図られた。

課題

- ・造成したコンテンツのPRを進め、認知度を向上させることが必要。



（宇土市提供）
観光コンテンツ造成のためモニターツアーを実施

【準備期間】

約2年（企画・発注6ヶ月、コンテンツ造成12ヶ月、広報・周知7ヶ月）

※ 観光コンテンツ造成を令和6年度・7年度（一部関連）、PR・販売を令和7年度に実施

【実施期間】

通年（体験時間90分） ※ 毎週月曜日・12/8～1/6・8/12～18・10月後半以外の日

【主な関係・連携機関】

- ・宇土市・宇土市観光物産協会・・・観光コンテンツの造成・販売・PR
- ・民間業者・・・観光コンテンツの実施
- ・宇土市大太鼓収蔵館・・・体験する場の提供

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（地域観光新発見事業・地域観光魅力向上事業）

【ツアー料金】

大人：1人あたり16,500円（税込み）／子ども：1人あたり11,000円（税込み）

【その他】

- ・体験時間は90分です
- ・体験については太鼓芸能集団 紬衣にお問い合わせください
（☎080-8582-2982 / ✉daisuke@utotaiko.net / URL <https://www.utotaiko.net/>）
- ・別途、宇土の雨乞い大太鼓の演奏鑑賞プランもあります

行って
みよう

宇土市大太鼓収蔵館（体験施設）

【駐車場】

自家用車10台／大型バス 要相談

※大太鼓収蔵館（☎0964-22-1930）にお問い合わせ

合わせください。

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【見学時間】

30分～1時間程度

【料 金】（入館料）

高校生以上200円

65歳以上・中学生以下は無料

【その他】

・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始は休館です。

多言語音声ガイドシステムの公開

荒尾市

(県史跡)
宮崎兄弟の生家



宮崎兄弟の生家の施設を解説する音声ガイド（日本語・英語・中国語）を掲載するウェブサイトを構築・公開する取組。来訪者の見学スタイルに合わせて文化財の説明を聞くことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

荒尾市 観光文化交流課 観光推進室

☎ 0968-63-1421

✉ kankou@city.arao.lg.jp

URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kankou/>

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）



荒尾市観光ガイドシステム

【予算】

1,767千円（制作費：1,595千円、年間保守料：172千円）

【財源】

単費（熊本地震復興基金活用）

【工夫した点／配慮した点】

- ・宮崎兄弟生家のほか、コストを最小限にするため、荒尾干潟の音声ガイドもまとめて掲載し「荒尾市観光ガイドシステム」として公開しています。

効果

- ・毎月レポートにて使用状況を確認することができる。

課題

- ・来館者閲覧促進のため、音声ガイドに気づいてもらう仕組みを改善していく必要がある。

【準備期間】

2年程度（企画・調整：不明、コンテンツ造成：2ヶ月）

【実施期間】

通年（令和7年度から常時公開）

【主な関係・連携機関】

施設所管

- ・荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室・・・施設所管（宮崎兄弟の生家）
- ・荒尾市環境保全課・・・・・・・・・・・・・・・・施設所管（荒尾干潟水鳥・湿地センター）

【法令等に基づく手続き】

—

【閲覧料】

- ※ただし、ガイド閲覧には、別途ポケット料金がかかります。

【その他】

- ・荒尾市観光ガイドシステムへのアクセスはこちら
(URL <https://www.smartguide.name/araocity-sg/index.cfm>)



行って
みよう

宮崎兄弟の生家（ガイド施設）

【駐車場】

普通車30台／大型バス2台／サイクルスタンド2台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料 金】※敷地内庭園への入場は無料。

一般（高校生以上）210円／小・中学生 100円

【所要時間】

40分程度

【その他】

- ・休館日 月曜（祝日の場合翌日）
- ・施設に関する問合せ先
宮崎兄弟資料館（☎0968-63-2595）

山鹿・和水だけのオリジナルガチャ (オリジナルグッズ開発・販売) 山鹿市・和水町

(国史跡)
チブサン古墳／鍋田横穴群
／弁慶ヶ穴古墳
(国宝)
肥後江田船山古墳出土品



チブサン古墳や鍋田横穴に描かれた装飾文様や江田船山古墳から出土した鉄刀の銘文をモチーフにしたマスキングテープを製作し、カプセルトイで販売する取組。地域の文化財を素材に地元中学・高校生や有名人と一緒にまちを盛り上げています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

山鹿市文化課

☎ 0968-43-1651

✉ bunka@city.yamaga.kumamoto.jp

URL 菊池川流域日本遺産ホームページ

<https://www.kikuchigawa.jp/news/detail/460>



(山鹿市教育委員会提供)
オリジナルグッズ (サンダル、マスキングテープ)

【区市町村の関わり】

主催 (山鹿市文化財担当部局・和水町文化財担当部局)
※定住自立圏形成協定を締結する両市町の広域連携事業の一環

【予算】

490千円 (山鹿市) 411千円・(和水町) 79千円 ※令和7年度

【財源】

特別交付税措置及び各市町の一般財源 (総務省)

【工夫した点／配慮した点】

- ・古墳をテーマにしたオリジナルグッズの開発及び販売により、地域の文化財を活用することで自治体の知名度向上を図りました。
- ・グッズの製作及び販売管理は観光協会へ委託しています。

効果

- ・両自治体の中高生からグッズのアイデアを募集し、64件もの応募があった。入賞者への賞品 (クオカード 5,000円×6名) が功を奏したものの。

課題

- ・販売開始の際は新聞で紹介されるなど話題に上ったが、時間が経つと売上げは減少傾向にある。

【準備期間】

1年 (プロポーザルによる業者選定2か月、企画・調整6ヶ月、アイデア募集1ヶ月、グッズ製作1ヶ月)

【実施期間】

令和10年度まで実施予定 (定住自立圏の事業期間)

【主な関係・連携機関】

- ・地元中学生・高校生 ……グッズのアイデア提供 (公募)
- ・一般社団法人山鹿温泉観光協会 ……事業の受託 (グッズの製作、ガチャの設置等)
- ・まりこふん氏 (古墳にコーファン協会会長) ……企画アドバイザー

【法令等に基づく手続き】

—

【購入費】

1回 500円

【その他】

- ・マスキングテープは3種類 (山鹿の装飾古墳の柄1種、江田船山古墳出土鉄刀モチーフ2種)。
- ・地元の高校生が考案した「チブサンダル (チブサン古墳+サンダル)」は目玉です。

行って
みよう

①山鹿市立博物館・②道の駅きくすい菊水ロマン館 (ガチャ設置場所)

【駐車場】

- ①普通車50台／大型車 要相談
- ②普通車91台／大型車 6台

【トイレ】

- ①②あり (男女別・多目的)

【料 金】

- ①大人270円／高校生以下70円
- ②—

【所要時間】

- ①40分程度
- ②—

【そ の 他】

- ・チブサンダルへの引き換えは山鹿市立博物館で行っています。

2 寄附による資金調達

事例①【宇城市】 世界遺産「三角西港」を守り、あなたの手で未来へつなごう



旧三角簡易裁判所

旧三角簡易裁判所記録倉庫

龍驤館

(宇城市教育委員会提供)

◆プロジェクトの目的

三角西港は、明治20年に明治政府の国内統一殖産振興の政策に基づいて、オランダ人水理工師のローウェンホルスト・ムルドルの設計で建設されました。

当時の最新の技術が盛り込まれ、近代国家の威信を懸けた明治三大築港の一つです。これまでも維持保存してきましたが、今後も現在の姿を残すためには管理を続け必要な修繕を行わなければなりません。しかし、これまで事業の財源となっていた国からの補助金交付が不確実な状況であり、財政難の自治体としても資金の工面に苦戦しています。このプロジェクトでは、改修や活用事業にかかる費用をふるさと納税で応援してもらおうべく、寄附を募集しています。

【令和7年度募集分】

◆目標金額

1,000万円

◆達成金額

879万円
87.9%

◆募集期間

2025/7/21
～2025/12/31

◆支援者数

399人

◆寄附の使い道

- 【令和5年度募集分】
 - ・龍驤館耐震補強工事
- 【令和6年度募集分】
 - ・世界遺産登録10周年事業
- 【令和7年度募集分（予定）】
 - ・高校生対象周知啓発事業
 - ・旧三角簡易裁判所耐震補強事業

寄附累積額の3割程度を使用し、残りは大規模事業が発生した際に充てられるよう、基金として積み立てている。

◆活用サイト

○ ふるさとチョイスGCF <https://www.furusato-tax.jp/gcf/?header>

<実施前>

◆背景

構成要素の耐震補強工事を行う際に、予算が確保できなかったことから、当該事業及び将来的な維持管理、活用に必要な費用の確保のためクラウドファンディングを実施しました。

◆全体の準備期間

当初の準備期間：令和5年（2023年）8月から令和5年（2023年）9月まで
令和7年度募集分：令和7年（2025年）5月から令和7年（2025年）6月まで

◆準備内容詳細

・寄附金の使用目的の決定

財政部局との協議のうえ文化財保護部局が用途決定。
大規模事業(工事等)については、優先的に充てるようにし、大規模事業がない時には予算折衝において対象外となった事業に充てるようにしています。

・サイトの決定まで

ふるさと納税のシステムを活用し実施しているため当該担当部局が決定したサイトを使用。

・目標金額の設定

当初は工事費用に充てるのが目的であったため、目標額を高く設定していたが、達成に至らなかったため、ふるさと納税担当部局と協議のうえ2年度目からはやや低めに設定。

・返礼品の設定

ふるさと納税のシステムを活用しているため、返礼品はすべて当該システムと共通。

◆市役所内の役割分担（課）

教育委員会文化スポーツ課・・・活用部局
市長政策部市長政策課・・・・・・制度設計部局

<実施期間中>

◆途中経過報告等

寄附金を活用した事業を行った際や、それに関する動きがあった場合にサイト上で報告。
原稿作成は文化財担当部局、サイトへの掲載をふるさと納税担当部局で行っています。

◆問い合わせ内容等

特になし

◆実施期間中の対応等

チラシを作成し、現地や市外の方が参加するイベント、市外におけるPRイベント、東京都の熊本銀座館などの施設で配布。

【課題】

ふるさと納税制度の継続によって成り立っている状況であり、それありきで資金運用を行うと制度廃止の場合には財源が不足。

事例②【八代市】

『令和2年日本遺産に認定された「石工の郷」のストーリーを活用し、八代の魅力を多くの人々に伝えてファンを増やしたい!』



笠松橋



穀桶 (大鞘桶門群)

(八代市教育委員会提供)

◆プロジェクトの目的

「石工の郷八代」のファンを増やし、後世まで貴重な歴史文化遺産を残すための取組への活用を予定しています。一例として先端技術(動画撮影、ドローン撮影、三次元計測など)を駆使して得られた成果を基に、日本遺産の魅力を多くの人にPRするコンテンツ、八代に訪れた人たちにこれまでにない新たな体験を提供することができる訴求力の高い以下のコンテンツの作成を目指します。

◆目標金額

5,000万円

◆達成金額

21,104.4万円
422.1%

◆寄附の使い道

八代市日本遺産活用推進基金を設立し、八代市日本遺産活用協議会の財源として下記の活動等を行っている。

- ・日本遺産の記録・PR活動
- ・ドローンによるPR画像の制作
- ・構成文化財の三次元計測等

◆募集期間

2020/12/4
～ 2021/3/5

◆支援者数

19,798人

◆活用サイト

- 楽天ふるさと納税

https://event.rakuten.co.jp/furusato/?l-id=furusato_pc_sub_headmenu_logo

<実施前>

◆背景

日本遺産に認定されたものの活動の財源がなかったため。

◆全体の準備期間

令和2年(2020年)6月から令和2年(2020年)11月まで

◆準備内容詳細

・寄附金の使用目的の決定

部内協議により決定

・サイトの決定まで

当時八代市のふるさと納税で利用していたサイトの中で、設定期間に利用できるサイトが楽天ふるさと納税でした。

・目標金額の設定

日本遺産に認定される3年間、国の補助金を活用した事業を実施することができ、3年分の事業主体者負担金相当分を目標としました。

・返礼品の設定

財政課やふるさと納税担当部局(観光振興課)と協議し、八代市のふるさと納税返礼品の中から八代の魅力を味わえ、八代に行ってみたくなる返礼品を選定。

◆市役所内の役割分担

観光振興課・・・募集等手続き全般

文化振興課・・・エントリーシート作成、ふるさと納税受領書発送補助等

<実施期間中>

◆途中経過報告等

目標額達成時、ネクストゴールの設定の報告。

◆問い合わせ内容等

特になし

◆実施期間中の対応等

目標金額に達成したため、ネクストゴールの設定を行いました。

<実施後>

・報告について

八代市のふるさと納税のホームページにおいて随時行っています。

【課題】

現在は基金を切り崩しながら活動費に充てている状態で、自走化のための資金を得るための活動が必要。

事例③【熊本県（阿蘇草原再生・世界遺産推進課）】 阿蘇世界文化遺産登録応援プロジェクト



草原

野焼き

御田祭り

(熊本県阿蘇草原再生・世界遺産推進課提供)

◆プロジェクトの目的

阿蘇のカルデラを中心とする壮大な草地景観は、野焼きー放牧ー採草という一連の草地管理を1000年以上にわたって守り続けたことにより形成された文化的景観です。

熊本県ではこうした人々の営みが作り上げた文化的景観を未来に残すために世界文化遺産登録を目指して活動しています。登録に向けて、阿蘇の世界的価値を整理するための学術調査や法的保護のほかに、住民の方々はもちろん、国内外の人々に阿蘇の価値を発信していくことが重要となり、より多くの方々に取組みを知ってもらうために実施しました。

◆目標金額

1,000万円

◆達成金額

1036.3万円
103.6%

◆寄附の使い道

- ・阿蘇地域における資産候補の学術的調査、景観保全のための分析調査費用
- ・阿蘇をテーマとした研究への支援
- ・世界文化遺産登録に向けた資産候補の保全
- ・普及・啓発グッズの作成
- ・中高生が阿蘇の世界的価値や魅力を学ぶための学習活動に対する支援

◆募集期間

2024/10/1
～ 2025/1/14

◆支援者数

273人

◆活用サイト

- ふるさとチョイスGCF <https://www.furusato-tax.jp/gcf/?header>
- YAMAP ふるさと納税 <https://furusato.yamap.com/>

<実施前>

◆背景

世界遺産登録に向けた予算不足と県内外に阿蘇の世界遺産登録をさらにPRしたいという思いから、ふるさと納税型クラウドファンディングによる取組を行いました。

◆全体の準備期間

令和6年（2024年）4月から令和6年（2024年）9月まで

◆準備内容詳細

・寄附金の使用目的の決定

庁内協議により決定（寄附の使い道に示した項目の事業に分配）

・サイトの決定

税務課が既にふるさと納税に係る業務を同サイトを通じて実施していたことから、当課も使用することになりました。専用IDを発行してもらい、マニュアル等もわかりやすかったです。さらに、サイト担当者には、事前の打ち合わせから募集開始後のフォローまで丁寧に伴走いただき、業務をスムーズに進めることができました。

・目標金額の設定

目標金額に関しては、他の同様の事例（世界遺産や文化財）や阿蘇の知名度などを考慮し、サイト担当者とも協議した上で決定しました。

・返礼品の設定

熊本県のふるさと納税で設定されている返礼品を活用したため、本プロジェクト用に独自の設定は行っていません。

<実施期間中>

◆途中経過報等

締め切り前の連絡、目標達成時の報告・御礼

◆問い合わせ内容等

原則キャッシュレスで実施したが、とくに大きな混乱はありませんでした。

※現金納入での問い合わせは1件のみ

◆実施期間中の対応等

- ・県外で実施されていた各種県人会やシンポジウムなどに出向き、本プロジェクトをPRしたほか、県の広報サイトや各種投稿記事などを通じて周知を行いました。
- ・課独自でチラシを作成し、上記イベント等で活用しました。
- ・募集期間後半にはサイト担当者の提案でYMAPとも連携して募集を行いました。

【課題】

- ・世界文化遺産登録までの道のりは長いので、継続的にできる仕組みづくりが必要
- ・草原維持に関しては、同様の取組みに対する寄附金制度なども存在するため、整理が必要

3 補助金による資金調達

活用に係る補助金（国・県）

国宝・重要文化財等保存活用事業費補助金*

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/hojo/hojokin.html>

【重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災、公開活用事業】

補助率：50%（条件により加算あり）

重文建造物の公開活用に資する設備・付属施設・案内設備・情報機器の整備等

【登録有形文化財（建造物・美術工芸品）修理等事業】

補助率：50%（条件によりかさ上げあり）

登録建造物の公開活用に資する設備・付属施設・案内設備・情報機器の整備、公開活用の安全性確保に必要な防災設備等の整備及び耐震対策工事等

【文化的景観保護推進事業】 補助率：50%（条件によりかさ上げあり）

標識・説明板等の設置及び改修工事、重要文化的景観の理解に資するための映像等の制作等

【重要無形文化財等伝承事業】 補助率：予算の範囲内

将来の伝承者や理解者の養成を目的とする体験研修、講習会、ワークショップの開催、情報発信等

【重要無形文化財等公開事業】 補助率：予算の範囲内

国家指定芸能特別鑑賞会、日本伝統工芸展

【民俗文化財伝承・活用等事業】 補助率：1/2

重要無形民俗文化財の伝承者養成事業、重要無形民俗文化財等の現地公開事業、無形の民俗文化財の周知事業、伝承教室・講習会・発表会開催、記録作成等

【文化財保存技術保存事業】 補助率：予算の範囲内

伝承者養成、研修発表、記録作成及び刊行、普及・啓発等

【美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業】 補助率：50%

後継者の育成、記録の作成及び普及・啓発等

【地域活性化のための特色ある文化財（美術工芸品）調査・活用事業】

補助率：1/2（条件によりかさ上げあり）

調査、調査報告書等製作、情報発信等

【歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業】 補助率：50%

史跡の全体像を認識できるような模型等の製作・復元的整備、実物遺構等を見るために必要な保存展示施設の設置、体験・活用等に必要な施設の設置等

【地域の特色ある埋蔵文化財活用事業】 補助率：50%

埋蔵文化財の公開を目的として展示設備の整備、公開活用のための広報・資料の作成及び配信、埋蔵文化財の理解のための公開・普及啓発

【重要文化財等防災施設整備事業】 補助率：50%（条件により加算あり）

重要文化財（美術工芸品）及び重要有形民俗文化財の保存活用施設の設置工事、一体的に整備される展示設備、開設用設備の設置工事等

文化資源活用事業費補助金（観光拠点整備事業）*

【観光拠点整備事業（高付加価値化された文化財への改修・整備促進事業）】

補助率：1/2～2/3

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/kankojuitsu/>

高付加価値化改修事業、美観向上整備事業、活用環境強化事業、鑑賞環境基本整備事業、情報発信事業等の創意工夫に基づいた特色ある取組

※訪日外国人旅行者の来訪が多い市区町村、世界遺産・日本遺産等が所在する市区町村、国際的なイベント等の開催を予定している市区町村が対象

【熊本県文化財保存整備費補助金】

補助率：（県指定）1/2以内、国指定等）10%以内（市町村5%以内）

補助対象は国庫補助事業に準じます。

* 要件に該当すれば県随伴補助を受けられる可能性があります。

活用に係る補助金（国）

文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/chiki_kasseika/index.html

【地域文化遺産】 補助率：予算の範囲内（上限85%）

地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統芸能・伝統行事の公開、人材育成、古典に親しむ活動など各地域の実情に応じた特色ある総合的な取組

【地域伝統行事・民俗芸能等】 補助率：予算の範囲内（上限85%）

伝統行事等の用具の修理、後継者養成、記録作成・情報整備など地域の伝統行事・民俗芸能等の基盤整備の取組

【文化財保存活用地域計画作成】 補助率：予算の範囲内

地域における文化財の総合的かつ計画的な保存と活用を図るための「文化財保存活用地域計画」作成等の取組

【世界文化遺産】 補助率：予算の範囲内

当該地域に所在する世界文化遺産の構成資産を活用した、普及啓発・人材育成・調査研究等の取組

【ユネスコ無形文化遺産】 補助率：予算の範囲内

ユネスコ無形文化遺産の構成要素である文化遺産を活用した、普及啓発・人材育成・調査研究等の取組

【地域のシンボル整備等】 補助率：50%

文化財保存活用地域計画に基づき、地域の核（シンボル）となっている国登録文化財を戦略的に活用する地方公共団体の取組

文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業（日本遺産等））

【博物館等における日本遺産ゲートウェイ機能強化事業】 補助率：予算の範囲内（1/2限度）

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/

ゲートウェイ施設における、日本遺産ストーリーの理解を促すための展示改善等を行い、日本遺産地域のゲートウェイとしての機能を強化する事業、ゲートウェイ施設を核とした日本遺産地域の周遊を促す取組

文化資源活用事業費補助金

【日本遺産等の整備・高度化による文化観光充実事業】 補助率：1/2～2/3

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/bunkaisan_kyoten/index.html

日本遺産（候補地域含む）の構成文化財、世界文化遺産の構成資産、ユネスコ無形文化遺産の構成要素の展示公開施設等に係る取組

【博物館等所有文化財の公開促進支援事業（地域ゆかりの文化遺産を活用した展覧会支援事業）】 補助率：予算の範囲内（1/2～2/3）

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/kokaisokushin/index.html>

国等有する地域ゆかりの文化遺産の借用等により活用するとともに、多言語解説を含む分かりやすい展示解説等により、当該地域の歴史・文化等を魅力的に展示・発信する取組

【文化財多言語解説整備事業】 補助率：1/3限度

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/tagengokaiseki_seibijigyo/index.html

国が指定・登録・選定した文化財及び日本遺産の構成文化財を対象として、デジタル技術等（QRコード、アプリ、AR・VR技術等）を利用した多言語解説に係るコンテンツ制作

【全国各地の魅力的な文化財活用推進事業】 補助率：400万円まで定額、400万円を超える部分については50～65%（最低事業費600万円）

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/zenkoku_katsuyo/index.html

国指定等文化財（世界文化遺産・日本遺産を含む）を高付加価値化し、活用から保存への再投資を図ることによって持続可能な保存・活用の好循環を創出するための取組

※文化庁の予算状況に応じてメニューが新設・廃止されるため、最新の募集情報はホームページ等で確認してください。

民間団体助成金

【(公財)朝日新聞文化財団「文化財保護活動への助成」】(直接申請)

応募期間：毎年5～7月

国又は都道府県、市町村の指定文化財並びに歴史遺産、及びそれに準じる芸術・学術的に価値のある文化財並びに歴史遺産が対象です。修復等の事業が完了した後は、広く一般に公開することを原則とします。

詳細は→ <https://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant02.html>

【伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(略称TARO)】

「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」(直接申請)

応募期間：毎年4～6月頃

伝統芸能文化に用いられる楽器・用具用品やそれに係る伝統工芸技術の復元、古典芸能・民俗芸能の活性化のための取組等、伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした活動を支援。

詳細は→ <https://traditional-arts.org/>

【(公財)文化財保護・芸術研究助成財団「文化財保存修復助成」】(県文化課所管)

応募期間：毎年1～2月頃

都道府県指定又は市町村指定文化財で、都道府県又は市町村の補助対象事業として修理等を予定している美術工芸品、建造物文化財又は有形民俗文化財(記念物及び無形文化財は除く)のうち、所有者の負担が大きいものに対する助成。

詳細は→ <https://www.bunkazai.or.jp/06koubo/index.html>

【(公財)住友財団「文化財維持・修復事業助成」】(直接申請)

応募期間：毎年10～11月頃

日本国内に所在する芸術的、学術的に価値のある、後世に継承すべき美術工芸品(絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、歴史資料、考古資料)の維持・修復事業。

詳細は→ https://www.sumitomo.or.jp/html/culja/cultuja_.htm

【(一財)沖永文化振興財団「地域文化活動事業助成」】(県文化課所管)

応募期間：毎年11～3月頃

日本に所在する芸術文化団体等が実施する伝統民俗芸能の保存伝習事業。日本に所在する芸術文化団体が自ら主催し、あるいは他の組織・団体と共催し、又は他の団体を招聘して実施する伝統民俗芸能公演・公開事業。

詳細は→ <http://o-bunka.t-zaidan.jp/>

【(公財)三菱財団「文化財保存修復事業助成」】(直接申請)

応募期間：毎年12～1月頃

日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果が期待できる事業に対し、補助的な援助。

詳細は→ <https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/cultural-property.html>

【(独法)芸術文化振興会「芸術文化振興基金」】(県観光文化政策課所管)

応募期間：毎年10～11月頃

「地域の文化振興等の活動」の支援区分においては、多様な芸術文化の創造普及を推進するとともに、芸術文化活動の充実、活性化を図ることを目指し、運営基盤が必ずしも十分ではない文化芸術団体の活動や採算性の望めない活動等にも配慮し支援する。

詳細は→ <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/about/purpose/>

【(公財)ポーラ伝統文化振興財団】(県観光文化政策課所管)

応募期間：毎年2～3月頃

日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果が期待できる事業に対し、補助的な援助。

詳細は→ <https://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html>

4 地域住民による取組

江藤家住宅 まもろう会

大津町

地域住民による文化財保存団体

江戸時代から大津町に残る貴重な歴史的建造物「江藤家住宅」。この大切な文化財を未来へ継承するため、地域住民が立ち上がりました。「江藤家住宅まもろう会」は、地域の宝を自分たちの手で守り、活用していく住民主体の取組です。清掃活動、イベント企画、ガイド育成など、様々な活動を通じて、文化財と地域をつなぐ架け橋となっています。



(大津町教育委員会提供)

50名
会員数

2015年
（前身の支える会は1993年）

月1回
定例活動

年5回
春と秋の一般公開
資料室公開(3回)

【江藤家住宅】

江藤家住宅は江戸時代の「在御家人」(郷土)住宅の形を残しています。

主屋の他、長屋門、石垣等国指定重要文化財として指定されています。

※江藤家住宅は、一般公開等を除き敷地内は非公開です。

【会の設立のきっかけ】

およそ200年にわたり住まいとして使用され、貴重なためである江藤家住宅をこれまではもちろん、これからも地域の心のよりどころとして守って、いこうとの思いで活動を始めました。

【主な活動内容】

建物・庭園の定期清掃と維持管理

一般公開イベントの企画・運営(年2回程度)

ボランティアガイドの育成・派遣

地域の子どもたちへの歴史教育プログラム

広報活動

自治体・教育委員会との連携協議



(大津町教育委員会提供)

定例清掃活動

屋敷の敷地はとても広く、楠の大木をはじめ20種類ほどの植物があり、下草刈りや掃除などは、まもろう会で月に1、2回、一般公開の前には総出で掃除などを行っています。



(大津町教育委員会提供)

公開イベント

年2回(春・秋)の一般公開、茶会、歴史講座など、住民や観光客が交流できる場を提供。まもろう会がガイドを行っています。(秋は地元大津南小4年生のボランティアガイドも行われます。)

【今後の課題】

会員の高齢化が一番の課題。生活習慣の多様化でなかなか活動に時間が割けず若い人に引き継いでいくことが難しくなっていますが、今後もこの地域のたからを残していけるように取り組んでいきます。

二俣渡 豪雨災害復興支援

美里町

地域住民による文化財復旧活動

県指定重要文化財「中山手永における石橋群 附 石碑 2 基」である二俣渡と二俣福良渡は、河川が合流する箇所に造られており、二つの橋を上から見るとし字型に並んでいます。

令和 7 年 8 月の豪雨災害で二俣渡が被災し現在は通行止めとなっています。この大切な地域の宝のを見守りながらも、復旧に少しでも力になりたいと様々なチャリティイベントを企画し売り上げの寄附活動などを住民主体で取り組んでいます。



(写真：美里町提供)

～被害状況～
路面の陥没、高欄上流側の流失、中詰材の流失、壁石の部分的抜け落ち、壁石の変形（ハラミ）、輪石（アーチ）のズレ・変形等。

【主な活動】

イベントの売り上げ（経費を除いた分）は、二俣渡復興の義援金として町に寄附

8月	豪雨により二俣渡被災
9月	・二俣橋復興チャリティヨガ
10月	・MISATOチャリティフリマ
11月	・チャリティマルシェ
12月	・ふたまたばしチャリティてぬぐい 販売 ・フットバスとランチ
1月	・二俣橋災害復興チャリティLive
今後	・引き続きチャリティイベント開催予定



(吉田氏提供)

チャリティフリマ

ちいさなちいさな1dayフリマ
参加店舗：5店舗
来場者数：約100名



(田中氏提供)

グッズ制作

オリジナルの手ぬぐいを作成
制作数：300枚



(亀本氏提供)

チャリティLive

来場者数：約40名

【主催】

有志 3 名

- ・企画運営・会場提供：亀本多希（Tika scone & cafe店主）
- ・企画運営・経理担当：吉田文（地域おこし協力隊（～R7））
- ・企画運営・デザイン：田中ヤスお（デザイナー）

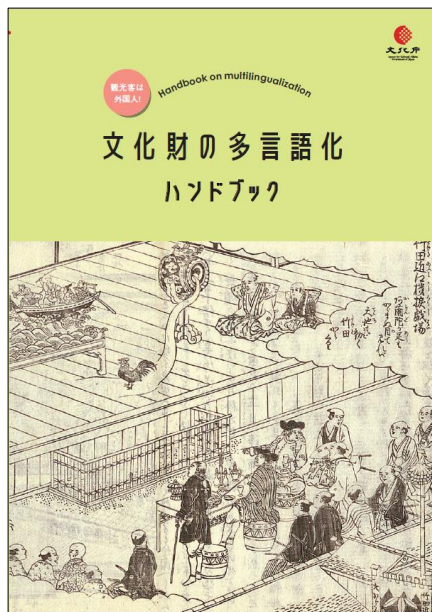
【イベントの効果・今後の活動について】

美里町内外（県内外）からイベントに参加いただき、多くの方に二俣橋の歴史や現状そして復興への願いを知っていただくきっかけとなりました。これからも粘り強く、そして楽しく、二俣橋の応援を続けていきます。今後も様々な形でイベントを企画予定です。ぜひ一緒に、この橋の未来を見守っていただきたいです。

參考資料

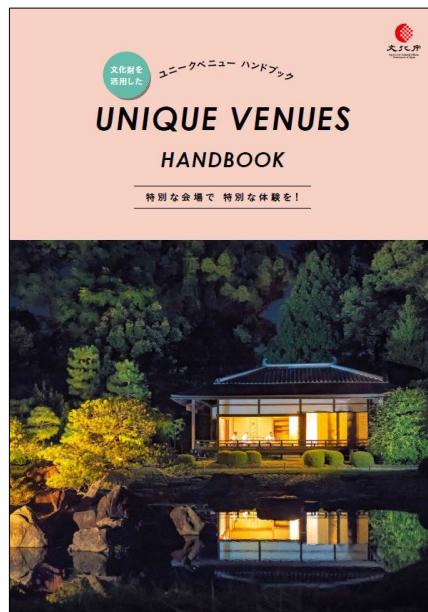
文化財の活用に関する刊行物

文化財の多言語化
ハンドブック



https://www.bunka.go.jp/tokei_ha_kusho_shuppan/shuppanbutsu/handbook/index.html

文化財を活用したユニーク
ベニューハンドブック



https://www.bunka.go.jp/tokei_ha_kusho_shuppan/shuppanbutsu/unkazai_handbook/index.html

先端技術による文化財活用
ハンドブック (本編版)



https://www.bunka.go.jp/tokei_ha_kusho_shuppan/shuppanbutsu/entan_handbook/index.html

文化財保護のための
資金調達ハンドブック



https://www.bunka.go.jp/tokei_ha_kusho_shuppan/shuppanbutsu/92099501.html

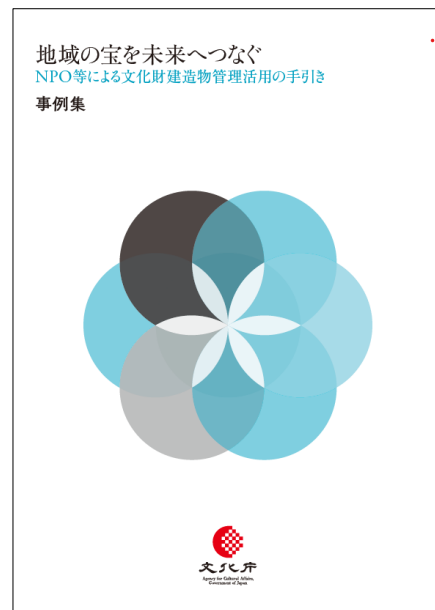
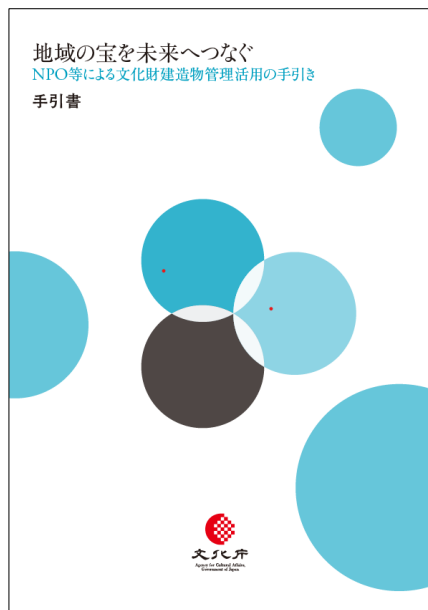
※掲載しているURLからホームページにアクセスすると各刊行物をダウンロードできます。

NPO等による文化財建造物
管理活用の手引き（手引書）

NPO等による文化財建造物
管理活用の手引き（事例集）

観光地域づくり事例集
（観光庁）

熊本県文化財保存活用大綱



https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/shuppanbutsu/92747201.html

https://www.mlit.go.jp/kankocho/jirei_shien/kankochiikizukuri.html

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/125/91060.html>

※掲載しているURLからホームページにアクセスすると各刊行物をダウンロードできます。

文化財活用事例一覧（令和7年度集計結果）

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体	区市町村の関わり	財源	関連する活用区分	回答者	
A 参加型保存整備										
1	三角旧港（三角西港）・龍驤館葺替瓦への名入れ	龍驤館の耐震補強工事にあわせ、地元小学校の児童たちが工事で交換される瓦の裏に名入れを実施。このほかにも現地説明会を開催。	（世界文化遺産）明治日本の産業革命遺産（国登録有形文化財）龍驤館 （国重要文化的景観）三角浦の文化的景観	令和6年度	行政 宇城市文化スポーツ課	主催 文化財担当部局	（耐震工事は補助金を活用）	L体験プログラム Mイベント	宇城市文化スポーツ課	
2	人吉城跡石垣栗石詰め体験	石垣修理工事に伴い裏込め作業として、各々墨書でメッセージを入れた栗石を詰める作業体験。	（国史跡）人吉城跡	令和6年度	行政 人吉市文化課	主催 文化財担当部局	（石垣修理工事は補助金を活用）	C技術・技能等体験 L体験プログラム Mイベント	人吉市文化課	
B 解説・展示の工夫										
3	どこでもミニ移動展示用パッケージ	展示スペースが限られた施設でも熊本県博物館ネットワークセンターの収蔵資料に触れられる小型の移動展示パッケージを作成し、貸出。	（未指定文化財）動植物資料、岩石・地質資料、民俗資料、歴史資料	令和7年度～ （令和6年度までの「図書館・公民館等移動展示パッケージ」をリニューアル）	行政 熊本県博物館ネットワークセンター	主催 観光担当部局	単費	D学校教育への組込 F住民への開放	熊本県博物館ネットワークセンター	
4	文化財三次元データの作成・公開	建造物や古墳等の三次元モデルを作成し、インターネット上のプラットフォームで公開。	（国史跡）陣ノ内城跡 （県重要文化財）御大師堂、福田寺の五輪塔ほか	令和2年度～	行政 熊本県文化課	主催 文化財担当部局	単費	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	熊本県文化課	
5	文化財三次元データの公開	三次元データによる文化財の現状記録及び公開。	（県史跡）長目塚古墳、上御倉古墳ほか	令和元年度～	行政 阿蘇市教育課	主催 文化財担当部局	単費	D学校教育への組込 Eデジタル技術の活用 F住民への開放	阿蘇市教育課	
6	町内文化財三次元計測事業	上津久礼眼鏡橋・井口眼鏡橋など町内の指定文化財の三次元計測を行い状態管理に用いるほか、三次元データを公開し公共に還元。県史跡馬場楠井手の鼻ぐりは専用ホームページで公開中。その他の三次元データの公開方法は調整中。	（県史跡）馬場楠井手の鼻ぐり （町有形文化財）上津久礼眼鏡橋、井口眼鏡橋	令和7年度	行政 菊陽町生涯学習課	主催 文化財担当部局	単費	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	菊陽町生涯学習課	
7	文化財三次元データの公開	三次元データによる文化財の公開。三次元データは県文化課に依頼し作成。	（国史跡）大野窟古墳	令和2年度	行政 氷川町生涯学習課	主催 文化財担当部局	-	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	氷川町生涯学習課	
8	文化財三次元データの作成・公開	人吉城跡地下室遺構の三次元データによる現状記録作成及び公開。三次元データは県文化課に依頼し作成。	（国史跡）人吉城跡	令和3年度～	行政 人吉市文化課	主催 文化財担当部局	-	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	人吉市文化課	
9	文化財三次元データの公開	三次元データによる文化財の現状記録作成及び公開	（県重要文化財）高寺院木造勢至菩薩立像 （村有形文化財）城山観音堂木造十一面観音立像ほか	平成30年度～	行政 山江村教育委員会事務局	主催 文化財担当部局	単費	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	山江村教育委員会事務局	
10	川尻米蔵跡ライトアップ	川尻の精霊流しに合わせて国史跡川尻米蔵跡のライトアップを実施。	（国史跡）熊本藩川尻米蔵跡	令和6年度～	行政 熊本市文化財課	主催 文化財担当部局	単費	Mイベント	熊本市文化財課	
11	船場橋イルミネーション	東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中、船場橋をシンボルマークカラーで夜間イルミネーションを実施。	（市有形文化財）船場橋	令和3年度	行政 宇土市文化課	主催 文化財担当部局	単費	I施設・周辺整備 Mイベント	宇土市文化課	
12	人吉あかりの社会実験	将来の新たな夜景の整備に向けた「あかりの社会実験」を行う取組の一環で寺社仏閣や石垣の夜間ライトアップを実施。	（国宝）青井阿蘇神社 （国史跡）人吉城跡 （国登録有形文化財）青井阿蘇神社礎橋ほか	令和7年度	主催 人吉市復興支援課 人吉市市街地復興課 人吉市文化課	主催 復興担当部局ほか	交付金・補助金	F住民への開放 Mイベント	人吉市文化課	
13	折りの茅葺ライトアップ（人吉ひかりの復興プロジェクト）	ライトアップによる文化財の公開。	（国重要文化財）山田大王神社	令和5年度～	民間 宗教法人山田大王神社	協力 文化財担当部局	単費	F住民への開放 I施設・周辺整備 Mイベント	山江村教育委員会事務局	
14	久玉町眼鏡橋水明かりライトアップ	文化財の夜間ライトアップの実施。	（市有形文化財）眼鏡橋	令和5年度～	民間 牛深Nanairoプロジェクトほか	-	-	単費	Mイベント	天草市文化課
15	菊池川流域日本遺産事業 HPやSNSを活用した情報発信・パネル展	日本遺産地域活性化計画に基づいたHPやSNSを用いた情報発信。パネル展示等の普及啓発。	（日本遺産）米作り、二千年にわたる大地の記憶	平成29年度～	その他 菊池川流域日本遺産協議会	その他 文化財担当部局ほか	負担金		玉名市文化課	
C 技術・技能等体験										
16	子ども芸術文化活動支援事業	地域の伝承芸能活動（太鼓）をしている子どもたちが技術力の向上と活動意欲を高め、伝統文化の継承につなげることを目的として、同様の活動をしている他地域の子どもたちと交流するイベントの実施。	（国重要有形民俗文化財）宇土の雨乞い大太鼓	令和6年度	行政 熊本県観光文化政策課	主催 観光担当部局	交付金	L体験プログラム Mイベント	熊本県観光文化政策課	
17	地域の伝承芸能の継承	町内の小学生を対象に代々受け継がれている町内三つの伝統芸能の継承活動を実施。	（県重要無形民俗文化財）吉原若戸神楽 （町無形民俗文化財）市原祇園社獅子舞、中原楽	継続	その他 南小国町内各小学校 各伝承芸能保存会	協力 文化財担当部局	単費	D学校教育への組込	南小国町教育委員会事務局	
18	運動会で子どもたちによる伝統芸能を披露	地元に伝わる民俗文化財を保存会の指導のもと小学生が伝承し、毎年運動会で披露。	（村無形民俗文化財）高野棒踊り	平成15年度～	民間 高野棒踊り保存会	その他 学校担当部局	-	D学校教育への組込	五木村教育課	
D 学校教育への取込										
19	被災文化財復旧情報発信出前授業	平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨で被災した文化財の復旧に向けた取組を題材とした授業の実施。	（国宝）青井阿蘇神社 （国重要文化財）阿蘇神社 （特別史跡）熊本城跡ほか	平成30年度～	行政 熊本県文化課	主催 文化財担当部局	単費 一部基金		熊本県文化課	
20	狩猟者PR事業（高校生への鳥獣被害対策講座）	高齢化する狩猟者対策のため高校生等の若い世代を対象に狩猟の楽しみや狩猟への理解を深め、狩猟者免許取得の動機付けを図ることを目的に鞠智城内においてキジの放鳥。	（国史跡）鞠智城跡	令和6年度	行政 熊本県自然保護課	主催 文化財担当部局 環境担当部局	-	C技術・技能等体験	歴史公園鞠智城・温故創生館	

※ 一覧中太字になっている事例は「1 文化財活用事例」に掲載に詳細を掲載

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体		県市町村の関わり		財源	関連する活用区分	回答者
21	菊池川流域日本遺産 出前授業	地域の児童生徒が日本遺産のストーリーを理解し誇りに思えるよう、学校教育と連携し日本遺産に触れる機会を提供。	(日本遺産) 米作り、二千年にわたる大地の記憶	平成29年度～	その他	菊池川流域日本遺産協議会	その他	文化財担当部局ほか	負担金		玉名市文化課
22	総合学習での文化財活用	中学校の総合学習の時間に町内文化財(歴史)の講話を行い、それを活用するワークショップを実施。生徒は文化財を活用した物品制作やプレゼンをつくり文化祭で発表。	(国史跡) 西南戦争遺跡ほか	平成25年度頃～	行政	玉東町社会教育課	主催	文化財担当部局	単費	L体験プログラム	玉東町社会教育課
23	環境学習プログラム(草原・森林学習)	産山村立産山学園で実施されているうぶやま学の一環として行われる環境学習(草原・森林学習)。毎年小学4年生を対象に年4回実施。村の自然、草原や森林の重要性、維持について学習を深める。	(村天然記念物) 山吹水源及び自然林(藤ナラ・クマダラ)	平成19年度～	学校	産山村立産山学園	主催	文化財担当部局	単費	L体験プログラム	産山村教育委員会事務局
24	地元小学校で神楽を体験	長野阿蘇神社に奉納される神楽を地元小学校の授業の一環として児童が体験。	(県重要無形民俗文化財) 長陽村長野の岩戸神楽	令和6年度	民間	長野岩戸神楽保存会	協力	文化財担当部局	補助金	C技術・技能等体験	南阿蘇村教区委員会事務局
25	文化財をテーマにした歴史学習の実施	町内小学3年生への地域学習及び6年生への歴史学習の実施。	(県重要文化財) 八勢眼鏡橋、門前川目鏡橋 (町有形文化財) 下鶴眼鏡橋 (町史跡) 小坂大塚古墳ほか	平成30年度～	行政	御船町社会教育課	主催	文化財担当部局	単費		御船町商工観光課
26	ふるさと塾	村内小学4年生～6年生を対象に様々な体験活動を実施。体験の一つとして村内文化財の見学等を実施。	(村無形民俗文化財) 白水神楽、川内平家踊り	平成18年度～	民間	-	協力	文化財担当部局	補助金	Jまち歩き L体験プログラム	水上村教育課
27	中学生のふるさと学習(地域理解)	五木の中学校生が村内の神社・堂宇等を回るふるさと学習(地域理解)を実施。	(未指定文化財) 阿蘇神社、八坂神社ほか	平成29年度～	行政	五木村教育課	協力	文化財担当部局	-		五木村教育課
28	五木村歴史文化交流館での学習	五木村歴史文化交流館を小中学校の学習センターとして実際に文化財を見聞きする学習に活用。中学生は体験学習として縄文土器を観察し、土器作りを行う。	(未指定文化財) 村内出土縄文土器ほか	令和2年度～	その他	学校運営協働本部	協力	文化財担当部局	-	L体験プログラム	五木村教育課
29	教員のための博物館の日	学校と博物館の連携促進を目的に国立科学博物館が始めた事業。県内の学校関係者を対象に講演や展示解説のほか県内の博物館が集まりワークショップを実施。	各館の収蔵品等	平成30年度～	行政	熊本県博物館ネットワークセンター	協力	観光担当部局	単費		熊本県博物館ネットワークセンター
30	化石セミナー	博物館の教育普及事業における文化財の解説。	(市指定文化財) アンモナイト化石	平成27年度頃～	行政	天草市文化課	主催	文化財担当部局	単費	B解説・展示の工夫	天草市文化課
31	学校移動展示用パッケージ	動物剥製、植物をはじめ化石・岩石などの標本を活用し、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容を深めるきっかけとする学校移動展示用パッケージを作成。各学校での展示及び理科の授業等で活用。	(未指定文化財) 動植物資料、岩石・地質資料	平成27年度頃～	行政	熊本県博物館ネットワークセンター	主催	観光担当部局	単費		熊本県博物館ネットワークセンター
32	考古資料学習キット	歴史の授業等で活用できる土器などをコンパクトにまとめた学習キットの作成・貸出。県文化課が実施する出前授業でも活用。	(未指定文化財) 埋蔵文化財	平成20年度～	行政	熊本県文化課	主催	文化財担当部局	単費		熊本県文化課
33	菊鹿中学校花苗贈呈	菊鹿中学校生が校内で育てたマリーゴールドや百日草などの苗を来館者をはじめ地元住民に配り鞠智城に親しんでもらう取組。	(国史跡) 鞠智城跡	過去の実績	学校	山鹿市立菊鹿中学校	協力	文化財担当部局	-		歴史公園鞠智城・温故創生館
E デジタル技術の活用											
34	小泉八雲熊本旧居でARおぼけ体験	小泉八雲熊本旧居設置のQRコードを来訪者自身のスマートフォン等で読み込みかざすと八雲直筆の妖怪が写し出されるなどのおぼけ体験ができる。	(市有形文化財) 小泉八雲熊本旧居	令和7年度	行政	熊本市文化財課	主催	文化財担当部局	単費	Mイベント	熊本市文化財課
35	八代城跡天守台石垣プロジェクションマッピング	八代くま川祭り当日に、国史跡八代城跡群天守台石垣を活用したプロジェクションマッピングを実施。	(国史跡) 八代城跡群 八代城跡	令和7年度	民間	八代くま川祭り振興会 (八代市役所構成員)	協力	観光担当部局ほか	協賛金ほか	Gアートとの融合 Mイベント	八代市文化振興課
F 住民への開放											
36	装飾古墳一斉公開	例年、春と秋の年2回、県内に所在する装飾古墳を一斉公開。装飾古墳の保存環境を考慮し、影響の少ない秋と春に開催。	(国史跡) 永安寺東古墳、鍋田横穴群、塚坊主古墳、大村横穴群 (県史跡) 桜ノ上横穴群ほか	平成21年度～	行政	熊本県立装飾古墳館 玉名市文化課 和水町社会教育課 山鹿市文化課 人吉市文化課	主催	文化財担当部局	単費	Mイベント	熊本県立装飾古墳館
37	文化財の一般公開	住民ボランティアによる文化財の公開・活用。文化財の日常的な管理や案内、文化財を活用したイベントの実施。	(国史跡) 豊前街道 南関御茶屋跡	平成17年度～	民間	南関御茶屋跡を運営管理するためのボランティア団体	その他	文化財担当部局	その他	Kガイド養成・案内 Mイベント	南関町教育課
38	藤崎家住宅(赤松館)の開放	明治時代に建てられた大地主の邸宅を土日祝日限定で一般公開。ほかにも生け花展等のイベントを実施。町のイベントであるカレー街道に参加しており、敷地内の米蔵では町のイベントに合わせて期間限定で百年伽哩を味わえる。	(国登録有形文化財) 藤崎家住宅(赤松館)	平成21年度～	民間	赤松館保存会	協力	観光担当部局 文化財担当部局	参加費	Gアートとの融合 Mイベント Nユニークベニュー	芦北町スポーツ・文化振興課
39	くまがわ文化財講座	令和2年7月豪雨によって甚大な被害を受けた球磨川流域の文化財について、それらが地域の誇り・宝であり、災害にあっても文化財をまもり、次世代につなぐという意識を醸成する講座を開催。	(国宝) 青井阿蘇神社 (重要文化財) 生善院観音堂 附厨子一基ほか	令和5年度～	行政	熊本県文化課	主催	文化財担当部局	単費		熊本県文化課
40	西南戦争歴史講座	熊本市と連携して西南戦争にまつわる講座を年4～5回実施。講座では様々な視点から西南戦争を読み解く。	(国史跡) 西南戦争遺跡	平成21年度～	行政	熊本市文化財課 玉東町社会教育課	主催	文化財担当部局	単費		玉東町社会教育課

※ 一覧中大字になっている事例は「1 文化財活用事例」に掲載に詳細を掲載

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体		県市町村の関わり		財源	関連する活用区分	回答者
41	古文書講座 勾玉作り	甲斐有雄氏の古文書を用いた古文書解説講座の開催。	(未指定文化財) 甲斐有雄関連資料	令和7年度	行政	高森町教育委員会事務局 熊本県博物館ネットワークセンター	主催	文化財担当部局	単費		高森町教育委員会事務局
42	文化財講座	町の文化財や歴史を広く周知し、町民の文化的向上を目指すために毎年度テーマを決めて3回程度の講座や講演会を実施。座学だけでなく、銅鏡鑄造体験等外部の専門機関と連携した体験プログラムも行っている。	(国重要文化財) 肥後国球磨郡免田才園古墳出土品、木造毘沙門天立像・木造二天王立像ほか	令和3年度～	行政	あさぎり町教育課	主催	文化財担当部局	単費	L体験プログラム	あさぎり町教育課
43	出前講座の開催	町内小中学校、各種団体（婦人会、老人会等）からの要請に応じ、町内の文化財に関する出前講座を実施（座学・現地案内の両方を含む）。	(国重要文化財) 木造毘沙門天立像・木造二天王立像 (県史跡) 才園古墳群 (町有形文化財) 谷水薬師尊堂ほか	継続	その他	町内各小中学校 婦人会、老人会等	協力	文化財担当部局	-	D学校教育への組込	あさぎり町教育課
44	相良村歴史講演会	相良村の文化財史料に基づき相良村の歴史を学ぶ講演会を開催。	(国重要文化財) 十島菅原神社 (県重要文化財) 平川家文書ほか	令和7年度	行政	相良村教育委員会事務局	主催	文化財担当部局	単費		相良村教育委員会事務局
45	文化財資料室考古資料展示	県が実施した発掘調査の成果を出土遺物と共に展示。	(未指定文化財) 考古資料	継続	行政	熊本県文化課	主催	文化財担当部局	単費	B解説・展示の工夫	熊本県文化課
46	文化財センター公開事業	報告書作成のための整理作業風景や復元した遺物の公開。	(未指定文化財) 考古資料	令和2年度～	行政	嘉島町社会教育課	主催	文化財担当部局	単費	B解説・展示の工夫	嘉島町社会教育課
G アートとの融合											
47	鞠智城スケッチ大会	大人も子どもも自由な感性で鞠智城を見つめ、印象に残った風景を思い思いに描く取組。応募作品は、外部の専門家による審査・講評が行われ、優秀作品は温故創生館や県庁などで展示。	(国史跡) 鞠智城跡	平成14年度～	行政	歴史公園鞠智城・温故創生館	主催	文化財担当部局	単費	D学校教育への組込 L体験プログラム Mイベント	歴史公園鞠智城・温故創生館
48	八雲誕生祭	小泉八雲熊本旧居で八雲の誕生日に合わせ邦楽の演奏を実施。	(市有形文化財) 小泉八雲熊本旧居	令和7年度	民間	小泉八雲熊本旧居保存会	共催	文化財担当部局	補助金	Nユニークベニュー	熊本市文化財課
49	菊池川流域日本遺産事業 フォトコンテスト	菊池川流域日本遺産を対象にしたフォトコンテストの実施。	(日本遺産) 米作り、二千年にわたる大地の記憶	平成29年度～	その他	菊池川流域日本遺産協議会	その他	文化財担当部局ほか	負担金	Mイベント	玉名市文化課
50	小学生による創作劇の上演	地元小学生が劇を制作し、八千代座の舞台上で上演。	(国重要文化財) 八千代座	継続	学校	地元小学校	-	-	-	D学校教育への組込 Nユニークベニュー	山鹿市文化課
51	昭和100年写真展	竹迫初市の一環として合志市歴史資料館の所蔵する昭和の写真を展示。過去の旧合志町の紹介動画（平成7年頃）をデジタル化し、見るコーナーも設けた。	(未指定文化財) 合志市歴史資料館所蔵写真	令和7年度	その他	竹迫初市振興会の地域団体 (合志市歴史資料館参画)	協賛・後援	文化財担当部局ほか	単費	B解説・展示の工夫 Eデジタル技術の活用 F住民への開放 Mイベント	合志市生涯学習課
52	美術館の収蔵品を使った地域のもの作り（「プロダクツで作る善三展」）	坂本善三美術館収蔵の坂本善三作品を基に地域のもの作り作家や工房がプロダクト（製品）を開発、展示販売。自由な解釈で制作されたプロダクトは、もの作り作家だけでなく鑑賞者にとっても美術作品を身近に感じられる機会となる。また、地域のもの作り作家を育て、新たな産業の創出につながっている。	(未指定文化財) 坂本善三作品	令和3年度 令和6年度	行政	小国町教育委員会事務局	主催	文化財担当部局	単費	B解説・展示の工夫 Pその他	小国町教育委員会事務局
53	澤井家住宅及び長屋門活用事業	市指定文化財澤井家住宅及び長屋門の所有者が、生涯学習館寺子屋「西小路」として運営。コンサート会場やヨガ教室として活用。	(市有形文化財) 澤井家住宅及び長屋門	令和5年度～	民間	生涯学習館寺子屋「西小路」	-	-	補助金	F住民への開放 Mイベント Nユニークベニュー	八代市文化振興課
54	石倉でのコンサート・展覧会開催	石倉内でコンサートや展覧会を開催。	(国登録有形文化財) 街蔵（旧緑屋石倉・旧緑屋麹室棟）	令和3年度頃～	民間	-	-	-	-	F住民への開放 Mイベント Nユニークベニュー	人吉市文化課
H サブカルチャーとの連動											
55	西南戦争マンガの作成・頒布	西南戦争遺跡を周知する漫画を作成し、有料で頒布。漫画の続きは、西南戦争遺跡を構成する各遺跡に設置されているQRコード読み込みと各自のデバイスで読むことができる。	(国史跡) 西南戦争遺跡	平成29年度～	行政	玉東町社会教育課	主催	文化財担当部局	補助金	B解説・展示の工夫 Eデジタル技術の活用 Jまち歩き	玉東町社会教育課
56	八千代座でコスプレ撮影会	八千代座にてコスプレ活動者が撮影会を実施。	(国重要文化財) 八千代座	継続	民間	-	-	-	-	F住民への開放 Mイベント Nユニークベニュー	山鹿市文化課
57	新しい人形浄瑠璃のかたち	少年漫画「ONE PIECE」を素材とした新作の人形浄瑠璃を制作し、市民参加型の形態で清和文楽人形芝居の公演を実施。	(県重要無形文化財) 清和文楽人形芝居	令和3年度 ～令和5年度	その他	実行委員会	その他	文化財担当部局	補助金ほか	C技術・技能等体験 D学校教育への組込 Gアートとの融合 L体験プログラム Mイベント	山都町生涯学習課
I 施設・周辺整備											
58	菊池川流域日本遺産事業 看板設置等整備	菊池川日本遺産の構成資産等に看板を設置。	(日本遺産) 米作り、二千年にわたる大地の記憶	平成29年度～	その他	菊池川流域日本遺産協議会	その他	文化財担当部局ほか	負担金		玉名市文化課

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体		県市町村の関わり		財源	関連する活用区分	回答者
59	棚底城跡 史跡整備とガイド施設建設	史跡棚底城跡における遺構表示やサイン等の整備とガイド施設建設。中世城や天草一揆衆の歴史を分かりやすく学べる場をつくり、来訪者の増加及び市民や児童・生徒による活用、市域全域の文化財周遊を促進。	(国史跡) 棚底城跡	平成29年度～令和8年度(予定)	行政	天草市文化課	主催	文化財担当部局	補助金	B解説・展示の工夫	天草市文化課
60	スマートフォン用カメラスタンド設置	史跡内のフォトスポットにスマートフォン用カメラスタンドを設置。カメラスタンドを利用することで手軽に文化財を背景とした集合写真が撮影できる。	(世界文化遺産) 明治日本の産業革命遺産 (国史跡) 三井三池炭鉱跡 万田坑跡 (県史跡) 宮崎兄弟の生家	令和4年度～	行政	荒尾市観光文化交流課観光推進室	主催	観光担当部局	単費		荒尾市観光文化交流課観光推進室
61	陣ノ内城跡御城印の販売	陣ノ内城跡の御城印を販売することで城跡への来訪を促し、史跡を知ってもらうと同時に町内外の多くの人に親しまれる場所となるようにする取組。	(国史跡) 陣ノ内城跡	令和7年度～	行政	甲佐町社会教育課	主催	文化財担当部局	補助金	Gアートとの融合	甲佐町社会教育課
J まち歩き											
62	古代への旅スタンプラリー2024	菊池川流域5地区の歴史を学ぶことを目的にしたスタンプラリー。	(国史跡) 鞠智城跡	令和6年度	民間	肥後古代森協議会 (熊本県立装飾古墳館)	共催	文化財担当部局	その他	Mイベント	歴史公園鞠智城・温故創生館
63	鞠智城デジタルスタンプラリー・ガイドツアー	菊池市国営歴史公園推進期成会事業の一環として鞠智城来訪者に鞠智城説明ボランティア会がガイドを行う限定イベントの開催。	(国史跡) 鞠智城跡	令和6年度～	行政	菊池市文化課	共催	文化財担当部局	-	F住民への開放 Kガイド養成・案内 Mイベント	歴史公園鞠智城・温故創生館
64	菊池川流域日本遺産事業 ポピュラー(サイクルイベント)	菊池川流域日本遺産協議会事業の一環でサイクルイベントを開催。日本遺産の構成資産である鞠智城などを中継地として活用。	(日本遺産) 米作り、二千年にわたる大地の記憶 (国史跡) 鞠智城跡ほか	令和5年度～	その他	菊池川流域日本遺産協議会	共催	文化財担当部局	負担金	Mイベント Oインバウンド対応	歴史公園鞠智城・温故創生館
65	万田坑・鉄道敷跡ウォークラリー	旧三池炭鉱専用鉄道敷跡内に設置したチェックポイントを巡るウォークラリーの開催。	(世界文化遺産) 明治日本の産業革命遺産 (国史跡) 三井三池炭鉱跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡ほか	令和7年度	行政	荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室	主催	文化財担当部局	単費	F住民への開放 Mイベント	荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室
66	西南戦争遺跡めぐりウォーキング	JRや熊本市と連携して西南戦争遺跡をめぐるウォーキングを開催。	(国史跡) 西南戦争遺跡 (未指定文化財) 木葉猿	平成20年度～	行政	玉東町社会教育課	主催	文化財担当部局	単費	Mイベント	玉東町社会教育課
67	玉東フットバス	町内の文化財や景観を楽しむフットバス。コースマップの作成やサイン設置を実施。ガイドやイベントもある。	(国史跡) 西南戦争遺跡 (県重要文化財) 西安寺五輪塔群 附板碑群ほか	令和2年度～	民間	玉東フットバス愛好会	共催	文化財担当部局	補助金	I施設・周辺整備	玉東町社会教育課
68	ヒマワリ畑でクイズラリー	方保田東原遺跡の一部の畑で地元の子供たちや住民とヒマワリの種を植え、ヒマワリが満開の時期に合わせて遺跡に関するクイズラリーを実施。	(国史跡) 方保田東原遺跡	平成26年度頃～	行政	山鹿市文化課	主催	文化財担当部局	単費	F住民への開放 Mイベント	山鹿市文化課
69	健幸ウォーキング	町内の文化財をゴールに設定したウォーキング。健康と体力の保持増進とあわせて町内の文化財の周知を図る。	(県重要文化財) 宮原観音堂 (町有形文化財) 谷水薬師尊堂ほか	令和5年度～	民間	ふれあいスポーツクラブあさざり	共催	文化財担当部局	その他		あさざり町教育課
70	相良村健康ウォーキング大会	村民を対象に自然の中で体を動かしながら文化財等の探訪と郷土の歴史に触れるウォーキング大会。村内4地区を1年ごとに巡回し、地域ごとの文化財等をチェックポイントに巡る。	(国重要文化財) 十島菅原神社ほか	平成14年度～	行政	相良村教育委員会事務局	主催	文化財担当部局	補助金	Mイベント	相良村教育委員会事務局
71	龍ヶ岳ウォーク(キララ祭)	名勝龍ヶ岳に登る健康ウォークを通じ龍ヶ岳町を広くPRするウォーキングイベント。景色と各エイドステーションで提供される地元食材を楽しみながら山頂のゴールを目指す。	(国名勝) 龍ヶ岳	平成2年度～	その他	キララ祭実行委員会 (上天草市商工会総戸龍ヶ岳支所)	後援	観光担当部局	参加費ほか	F住民への開放 L体験プログラム Mイベント	上天草市社会教育課
72	九州オルレ 天草・松島コース	九州オルレのトレッキングコースの一部に千巖山設定。	(国名勝) 千巖山および高舞登山	平成24年度～	行政	上天草市観光おもてなし課	主催	観光担当部局	単費		上天草市観光おもてなし課
73	ずもと史跡ウォーク	指定文化財を活用したウォーキングイベント。	(市史跡) 栖本諏訪神社ほか	令和4年度～	民間	栖本地区振興会	協力	文化財担当部局	単費	Mイベント	天草市文化課
74	棚底史跡めぐり・ウォーキング	棚底地区の文化財などをめぐるウォーキングイベント。	(国史跡) 棚底城跡ほか	平成30年度頃～	民間	棚底地区振興会	協力	文化財担当部局	単費	Mイベント	天草市文化課
75	小ヶ倉かんのんウォーク	指定文化財を活用したウォーキングイベント。	(市有形文化財) 小ヶ倉観音磨崖碑	令和4年度頃～	民間	栖本地区振興会	協力	文化財担当部局	単費	Mイベント	天草市文化課
76	楠浦よかとこスタンプラリー	指定文化財を活用したウォーキングイベント。	(県重要文化財) 楠浦の眼鏡橋 (市有形文化財) 伊賀倉権現古塔群 (市史跡) 楠浦新田古墳ほか	平成23年度頃～	民間	楠浦地区振興会	-	-	単費	Mイベント	天草市文化課
77	富岡城・富岡西海岸 西海岸ウォーキング	富岡城と富岡の西海岸をガイドしながらウォーキング。	(町史跡) 富岡城址	平成29年度～	行政	苓北町商工観光課	主催	観光担当部局	単費	Kガイド養成・案内	苓北町教育委員会事務局
78	まち歩きマップの作成	明治・大正・昭和初期の雰囲気を残すまち並みで旧河道など往時の面影を探しながらまち歩きができる文化財マップを作成。文化財の散策・見学を通じた周辺商店街への誘客も目指す。	(県史跡) 徳富蘇峰・蘆花生家 (市有形文化財) 源光寺薩摩部屋ほか	令和6年度～	行政	水俣市教育課	主催	文化財担当部局	単費	I施設・周辺整備	水俣市教育課
K ガイド養成・案内											
79	池辺寺ガイド養成講座	ガイド養成講座の開催。	(国史跡) 池辺寺跡	平成24年度～	行政	熊本市文化財課	主催	文化財担当部局	-		熊本市文化財課
80	菊池川流域日本遺産事業 ガイド養成	菊池川流域日本遺産のガイド養成と活用。	(日本遺産) 米作り、二千年にわたる大地の記憶	平成29年度～	その他	菊池川流域日本遺産協議会	その他	文化財担当部局ほか	負担金		玉名市文化課

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体	県市町村の 関わり	財源	関連する活用区分	回答者	
81	小学生による文化財ボランティアガイド	総合的な学習の時間を利用して、国重要文化財江藤家住宅の公開時に地元小学生がボランティアガイドを実施。	(国重要文化財) 江藤家住宅	令和元年度～	その他 大津町生涯学習課 町内小学校	主催	文化財担当部局	-	D学校教育への組込	大津町生涯学習課
82	菊陽町文化財ボランティアガイド	町内文化財のガイドを行う人材育成を行い、町内外からのガイド依頼に対応する。	(県史跡) 馬場楠井手の鼻ぐりほか	平成22年度～	民間 南部町民センターを中心とした南校区在住者による団体	協力	文化財担当部局	補助金		菊陽町生涯学習課
83	御船LOVEクラブガイド養成講座	町の歴史・文化・民俗の学習と観光ガイド育成を目的としたガイド養成講座を年4回開催。講座には、ガイドだけでなく、町内外問わずどなたでも参加ができる。	(県重要文化財) 八勢眼鏡橋 (町史跡) 御船城跡ほか	継続	民間 御船LOVEクラブ (御船町観光交流センター)	協力	観光担当部局	補助金ほか	Jまち歩き	御船町商工観光課
84	日本遺産ガイド (中学生ボランティアガイド)	年間を通じて地元中学生が日本遺産の構成文化財を楽しく案内。中学生たちは、地元や行政の協力のもと総合学習の時間等を活用してめがね橋に関する学びを深め、ガイドを行っている。	(日本遺産) 八代を創造した石工たちの軌跡 (市有形文化財) 八代鍛冶屋下橋 (市天然記念物) 白髪岳天然石橋ほか	令和4年度～	民間 東陽町住民自治協議会 (東陽まちづくり協議会)	協力	文化財担当部局 地域振興担当部局	補助金	D学校教育への組込	八代市文化振興課
85	ひみつ基地ミュージアムスタッフ補助ボランティア	ひみつ基地ミュージアムの運営及びガイド体験。	(未指定文化財) 人吉海軍航空基地資料館	令和5年度～	行政 錦町教育振興課	主催	文化財担当部局	-	D学校教育への組込 L体験プログラム	錦町教育振興課
86	湯前町内の日本遺産ガイド	観光案内人による湯前町内の人吉・球磨地域の日本遺産構成文化財のガイド。	(日本遺産) 相良700年が生んだ保守と進取の文化 (国重要文化財) 八勝寺阿弥陀堂 (町有形文化財) 宝陀寺観音堂ほか	令和7年度	民間 ゆのまえ町観光案内人	協力	文化財担当部局	参加費	Jまち歩き	湯前町教育課
L 体験プログラム										
87	古代のボードゲームで遊ぼう	鞠智城が存続していた奈良時代に当時の都である平城京で流行したゲーム (古代版ボードゲーム) を活用した学習活動の実施。	(国史跡) 鞠智城跡	令和6年度～	行政 歴史公園鞠智城・温故創生館	主催	文化財担当部局	単費	A参加型保存整備 C技術・技能等体験 D学校教育への組込 Mイベント	歴史公園鞠智城・温故創生館
88	阿蘇の茅束づくり体験 (教育旅行向け体験学習プログラム)	阿蘇の伝統文化と草原保全につながる活動として、熊本県立大津高等学校の生徒が茅葺き屋根に利用するスキを刈り取り、束ねる作業を体験。	(ユネスコ無形文化遺産) 伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術 (茅採取) (国重要文化的景観) 阿蘇の文化的景観	令和6年度	民間 阿蘇草原保全活動センター	-	-	参加費	D学校教育への組込	阿蘇市教育課
89	勾玉作り	熊本県立装飾古墳館に依頼して勾玉作りを開催。	(未指定文化財) 幅・津留遺跡	令和7年度	行政 高森町教育委員会事務局	主催	文化財担当部局	単費		高森町教育委員会事務局
90	農村舞台で薪文楽	薪文楽は、往時の農村における芝居興行の様子を体感できるイベント。「絵本太功記」、「鎌倉三代記」などの時代物と呼ばれる演目を篝火に照らされた幻想的な雰囲気の中で鑑賞できる。	(国登録有形文化財) 大川阿蘇神社農村舞台 (県重要無形文化財) 清和文楽人形芝居	平成5年度～	民間 一般財団法人清和文楽の里協会 道の駅清和文楽邑清和文楽館	名義講演	文化財担当部局ほか	公演鑑賞料	Mイベント	山都町生涯学習課
91	球磨神楽体験会	球磨神楽の体験。	(国重要無形民俗文化財) 球磨神楽	継続	民間 球磨神楽保存会	-	-	-	F住民への開放 Mイベント	人吉市文化課
M イベント										
92	ころう君誕生祭	鞠智城イメージキャラクターころう君の誕生祭。熊本県都市計画課が推進する国営公園推進事業の一環。鞠智城で開催することで来訪者が増加し、リピーター増加につながる。	(国史跡) 鞠智城跡	継続	行政 熊本県都市計画課	協力	文化財担当部局	-	Hサブカルチャーとの連動	歴史公園鞠智城・温故創生館
93	みんなおいでよ！鞠智城	自治体公認キャラクターがGWイベント期間中に鞠智城に集まり、鞠智城イメージキャラクターころう君とともに来訪者に文化財保護をアピール。国営公園化推進事業の一環。	(国史跡) 鞠智城跡	平成21年度～	行政 熊本県都市計画課	協力	文化財担当部局	-	Hサブカルチャーとの連動	歴史公園鞠智城・温故創生館
94	チェントミリアかみつえ2024	世界の名車によるスタンプラリー“チェント・ミリアかみつえ”の中継地として鞠智城跡を活用。古代の復元建物を背景に写真撮影をするなど史跡の活用につながっている。	(国史跡) 鞠智城跡	令和6年度	民間 自動車道楽倶楽部プレディレッタ チェント・ミリアかみつえ事務局	-	-	-	F住民への開放	歴史公園鞠智城・温故創生館
95	鞠智城で山鹿たけのご掘り選手権	鞠智城跡をスタート、ゴールに史跡指定地外のたけのご掘りを行うイベント。山鹿アドベンチャー創出協議会事業。	(国史跡) 鞠智城跡	令和4年度～	民間 山鹿アドベンチャー創出協議会	共催	文化財担当部局	-	F住民への開放	歴史公園鞠智城・温故創生館
96	鞠智城跡の自然に触れる体験 春の自然観察ツアーと葉っぱのマグネット作り	鞠智城跡の自然環境を熊本県博物館ネットワークセンター学芸員の案内で巡り史跡に親しみ、菊池少年自然の家の指導を受けながら観察会で採取した葉っぱを使って「葉っぱのマグネット」を作る。	(国史跡) 鞠智城跡	令和5年度～	行政 歴史公園鞠智城・温故創生館	主催	文化財担当部局	参加費	L体験プログラム	歴史公園鞠智城・温故創生館
97	鞠智城 秋の自然観察ツアー	鞠智城跡の史跡整備後に成長した草木を活用した取組。鞠智城で歴史以外の分野でも関心を持っていただくためのイベント。熊本県博物館ネットワークセンターとのコラボ事業。	(国史跡) 鞠智城跡	令和5年度～	行政 歴史公園鞠智城・温故創生館 熊本県博物館ネットワークセンター	共催	文化財担当部局	単費	L体験プログラム	歴史公園鞠智城・温故創生館
98	鞠智城で地元に残る伝統工芸に触れる「竹とんぼづくり」	子どもたちに竹を加工する技術に触れ、竹の産地である県北地域に残る竹工芸に親しむ機会を提供。あわせて鞠智城を訪れ、歴史文化に触れる機会も創出。	(国史跡) 鞠智城跡	平成14年度～	行政 歴史公園鞠智城・温故創生館	主催	文化財担当部局	参加費	C技術・技能等体験 F住民への開 L体験プログラム	歴史公園鞠智城・温故創生館
99	鞠智城工作フェスタ 手のり門松づくり・木工ストラップづくり・竹あかりづくり	菊池少年自然の家の工作メニューを鞠智城で実施。地元に残る工芸に触れ、地元理解を深めるとための取組。	(国史跡) 鞠智城跡	令和4年度～	行政 歴史公園鞠智城・温故創生館	主催	文化財担当部局	参加費ほか	C技術・技能等体験 F住民への開 L体験プログラム	歴史公園鞠智城・温故創生館

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体		県市町村の関わり		財源	関連する活用区分	回答者
100	雲上の熊本城	熊本城の古井戸の水を一部利用したミストにより発生させた人工雲海によって熊本城を幻想的に浮かび上がらせるイベント。秋のくまもとお城まつりの一環として実施。	(国重要文化財) 熊本城 (国特別史跡) 熊本城跡	令和6年度～	行政	熊本城総合事務所	主催	文化財担当部局	単費	Eデジタル技術の活用 F住民への開放	熊本城総合事務所
101	熊本市記念館魅力向上イベント	ジェーンズ邸をバックにフラダンス等のステージイベントを開催。	(県重要文化財) 熊本洋学校ジェーンズ邸	令和6年度	行政	熊本市文化財課	主催	文化財担当部局	単費	Gアートとの融合	熊本市文化財課
102	ジェーンズ邸クリスマスイベント	ジェーンズ邸をライトアップし館内もクリスマスの装飾を実施。	(県重要文化財) 熊本洋学校教師ジェーンズ邸	令和6年度～	行政	熊本市文化財課	主催	観光担当部局	単費	B解説・展示の工夫 Gアートとの融合	熊本市文化財課
103	八雲忌	小泉八雲熊本旧居において八雲の命日に合わせた八雲作品の朗読会を開催。	(市有形文化財) 小泉八雲熊本旧居	昭和36年度頃～	民間	小泉八雲熊本旧居保存会	共催	文化財担当部局	補助金		熊本市文化財課
104	くまモンの三角西港石畳緑日	三角西港において世界遺産登録10周年を記念したマルシェやステージイベントの開催。	(世界文化遺産) 明治日本の産業革命遺産 (国重要文化的景観) 三角浦の文化的景観ほか	令和7年度	行政	宇城市商工観光課	共催	観光担当部局	その他		宇城市商工観光課
105	ドライブインシアター万田坑の実施	コロナ禍のニーズに応じたナイトコンテンツ開発として万田坑施設の芝生広場に大型スクリーンを設置し、車内から映画を鑑賞。	(世界文化遺産) 明治日本の産業革命遺産 (国史跡) 三井三池炭坑跡 万田坑跡	令和3年度	民間	一般社団法人荒尾市観光協会	その他	観光担当部局	補助金ほか	Nユニークベニュー	荒尾市観光文化交流課観光推進室
106	荒尾夜市の実施	万田坑施設の芝生広場においてイベントの開催。	(世界文化遺産) 明治日本の産業革命遺産 (国史跡) 三井三池炭坑跡 万田坑跡	令和4年度～	民間	一般社団法人荒尾市観光協会	その他	観光担当部局	補助金	Nユニークベニュー	荒尾市観光文化交流課観光推進室
107	和水町古墳祭	国史跡江田船山古墳一帯で古墳祭を開催。	(国史跡) 江田船山古墳 附 塚坊主古墳 虚空蔵塚古墳	昭和45年頃～	その他	和水町古墳祭実行委員会 (和水町まちづくり課)	共催	文化財担当部局ほか	補助金	Nユニークベニュー	和水町社会教育課
108	ランタンフェスティバル	地元の子供たちが紙バックランタンを制作し、方保田東原遺跡の出土品の形に並べ夜に灯すイベント。	(国史跡) 方保田東原遺跡	平成26年度頃～	行政	山鹿市文化課	主催	文化財担当部局	その他	F住民への開放 L体験プログラム	山鹿市文化課
109	紙芝居読み聞かせ	国重要文化財江藤家住宅の一般公開にあわせて紙芝居の読み聞かせを実施。西南戦争時に江藤家住宅が細川家御息女の避難先として使用されたことをを題材にした紙芝居。	(国重要文化財) 江藤家住宅	令和7年度	行政	大津町生涯学習課 大津町立図書館	主催	文化財担当部局 社会教育担当部局	-	B解説・展示の工夫 Mイベント Nユニークベニュー	大津町生涯学習課
110	町内遺跡活用事業（記憶の継承WG）	記憶の継承を目的とした町内文化財を歩いて回るスポーツイベント。	(国天然記念物) 布田川断層帯 (町史跡) 赤井城址	令和6年度～	行政	益城町生涯学習課	主催	文化財担当部局	単費	Jまち歩き	益城町生涯学習課
111	球磨拳世界大会	球磨郡に古くから伝わるジャンケン遊びの”最強“を決める世界大会を開催。球磨拳の保存と普及を進め、地元の方も遠方の方も一緒になった人と人の温かいつながりを感じることができる。	(町無形民俗文化財) 球磨拳	平成24年度～	民間	多良木町伝統・伝承芸能保存団体連絡協議会 (多良木町町企画観光課)	事務局	文化財・観光担当部局	補助金	L体験プログラム	多良木町町企画観光課
N ユニークベニュー											
112	史跡鞠智城跡で公開ラジオ放送	熊本県都市計画課が推進する国営公園推進事業国営公園化推進事業の一環で鞠智城から毎年ラジオの公開生放送を実施。館職員インタビュー形式で参加し、鞠智城への来訪をうながす。菊池市から提供を受けた菊池米を来訪者に配布。	(国史跡) 鞠智城跡	継続	行政	熊本県都市計画課	協力	文化財担部局	-	F住民への開放 Mイベント	県都市計画課 歴史公園鞠智城・温故創生館
113	楽しむ能「楽」プロジェクト！ 熊本城能楽特別公演	熊本城天守閣前広場を会場に「楽しむ能『楽』プロジェクト！ 熊本城能楽特別公演」を開催。ライトアップされた天守閣の前で、熊本城とゆかりのある演目である能「箆」・「葵上」、狂言「萩大名」を実施。	(国特別史跡) 熊本城跡	令和7年度	民間	公益社団法人 能楽協会	後援	観光担当部局	補助金ほか	F住民への開放 Mイベント	熊本城総合事務所
114	八千代座で結婚式の前撮り	八千代座での結婚式の前撮り（フォトウェディング）。	(国重要文化財) 八千代座	継続	民間	-	-	-	-	F住民への開放	山鹿市文化課
115	八千代座でeスポーツ	八千代座にてeスポーツの大会を実施。	(国重要文化財) 八千代座	継続	民間	-	-	-	-	Mイベント	山鹿市文化課
116	ましき朝飯（ちょ～いい）トレイル 朝来山そして飯田山を駆け抜けろ♪	布田川断層帯（谷川地区）をスタート・ゴールに朝来山から飯田山を駆け抜けるトレイルランニングを開催。ランニングを通じて町の歴史や地域の魅力を知ってもらうことが目的。	(国天然記念物) 布田川断層帯	令和6年度～	民間	飯田山トレイル実行委員会	協力	文化財担当部局	補助金	L体験プログラム Mイベント	益城町生涯学習課
O インバウンド対応											
117	宇土の雨乞い大太鼓 ガイド付演奏体験とオリジナルパチづくり	インバウンド客を対象に宇土の雨乞い大太鼓を素材とした観光コンテンツを開発・販売。コンテンツは、ウェルカムパフォーマンス、歴史学習、オリジナルパチづくり、参加者による演奏体験が楽しめる。	(国重要有形民俗文化財) 宇土の雨乞い大太鼓	令和6・7年度 (販売は令和7年度～)	その他	宇土市観光物産協会 宇土市商工観光課 (市が事務局となっている宇土市観光物産協会の事業の一つとして当該観光コンテンツを造成)	その他	観光担当部局	補助金	L体験プログラム	宇土市商工観光課
118	多言語音声ガイドシステムの公開	宮崎兄弟の生家の施設を解説する音声ガイド（日本語・英語・中国語）を掲載するウェブサイト構築・公開。来訪者の見学スタイルに合わせて文化財の説明を聞くことができる。	(県史跡) 宮崎兄弟の生家ほか	令和7年度～	行政	荒尾市観光文化交流課観光推進室	主催	観光担当部局	単費	B解説・展示の工夫 Eデジタル技術の活用 Jまち歩き	荒尾市観光文化交流課観光推進室
119	西南戦争遺跡音声ガイド	西南戦争遺跡を構成する各遺跡にQRコード設置。各自のデバイスでアクセスすると音声案内を聞くことができる。多言語（英語）対応。	(国史跡) 西南戦争遺跡ほか	令和2年度～	行政	玉東町社会教育課	主催	文化財担当部局	補助金	B解説・展示の工夫 Eデジタル技術の活用 Jまち歩き	玉東町社会教育課

	活用名称	活用の概要	対象の文化財	取組時期	実施主体		県市町村の関わり		財源	関連する活用区分	回答者
P その他											
120	山鹿・和水だけのオリジナルガチャ（オリジナルグッズ開発・販売）	チブサン古墳や鍋田横穴に描かれた装飾文様や江田船山古墳から出土した鉄刀の銘文をモチーフにしたマスキングテープを製作し、カプセルトイで販売。地域の文化財を素材に地元中学・高校生や有名人も一緒にまちを盛り上げ。	（国史跡）チブサン古墳、鍋田横穴群、鍋田横穴群 （国宝）肥後江田船山古墳出土品	令和7年度～令和10年度（予定）	行政	山鹿市文化課	主催	文化財担当部局	単費		山鹿市文化課
121	国登録有形文化財の活用・公開	国登録有形文化財高木医院をカフェへとして活用・公開	（国登録有形文化財）高木医院	令和4年度～	民間	株式会社トリニティコーポレーション	-	-	-	F住民への開放	菊池市文化課

文化財を「活かす」ときは

- 1 文化財の保存と活用を両立しましょう
- 2 文化財の本質的価値の理解と継承につなげましょう
- 3 地域コミュニティとの連携をはかりましょう
- 4 安全に気を付け法令を順守しましょう

文化財は一度失われると二度と元には戻りません
地域の宝である文化財を適切に「活かし」ながら、「まもり」
次世代に引き継いでいきましょう

文化財活用事例集

～文化財の保存・活用のためのヒント～
第2版

作成年月日 令和8年(2026年)3月31日作成
編集・作成 熊本県教育庁教育総務局文化課